
「輸出先国での日本茶消費実態調査及び
流通緑茶収集調査」
報告書

2016年10月30日

日本産緑茶の輸出促進に向け、海外の有望市場における日本産緑茶のニーズ・嗜好性及び競合品等の流通状況を把握することが目的。

背景・目的

- 日本産緑茶の輸出を促進するためには、輸出先となる有望市場の消費者ニーズ・嗜好性及び日本産緑茶の競合品を理解した上で、マーケティングを進めていくことが必要
- 本年度は、健康面での緑茶の効能が注目され、日本産緑茶のニーズが高まっている北米、シンガポールを中心に、消費者ニーズ・嗜好性及び緑茶の流通状況を把握することで、日本産緑茶のマーケティング施策検討の一助とする

調査概要

① 茶の消費動向に関する消費者アンケート調査

- アメリカ、カナダ、イギリス、フランス、ドイツ、インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイの10ヶ国を中心にWebアンケートを実施

② 日本産緑茶の試飲調査

- シンガポール、米国のサンフランシスコ市、ニューヨーク市の3都市で実施

③ 海外で販売されている緑茶の収集

- アメリカ、カナダ、イギリス、フランス、ドイツ、マレーシア、シンガポールの7か国にて現地調査を実施

委託先選定の考え方

短期間で効率的な調査を実施すべく、
下記の条件を満たす
「アクセンチュア株式会社」を委託先に選定

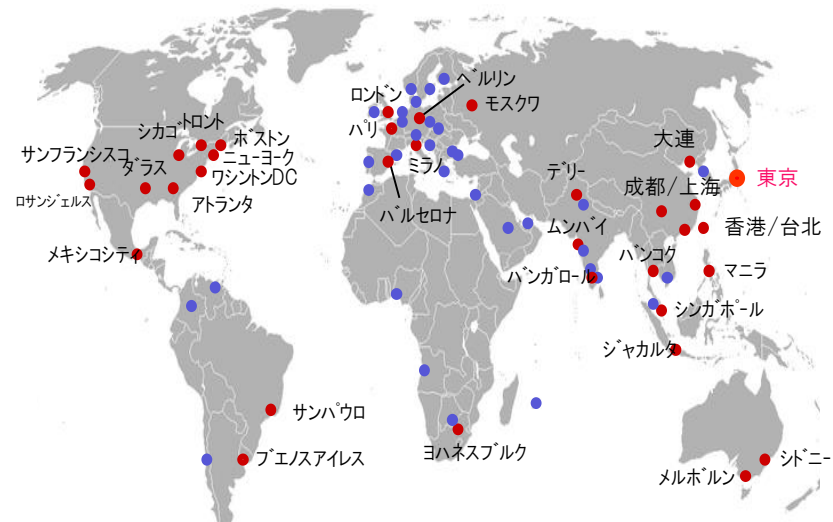
豊富な
海外拠点・
社員数

- 前頁の調査対象国に海外拠点をもち、調査を実施する上で十分な社員数を有していること

中間層
以上の
所得層

- 日本産緑茶の主たるターゲットとなり得る、中間層以上の社員から構成されていること
 - 短期間での調査に向け、社員及びその周辺者を消費者アンケートの主な対象者とすることを想定

《参考》アクセンチュア主要事務所



アメリカ大陸

- ・ アメリカ合衆国
- ・ アルゼンチン
- ・ カナダ
- ・ コロンビア
- ・ チリ
- ・ ブラジル
- ・ ベネズエラ
- ・ メキシコ
- ・ ペルー

ヨーロッパ/中近東/アフリカ

- ・ アイルランド
- ・ アラブ首長国連邦
- ・ アンゴラ
- ・ アンドラ
- ・ イギリス
- ・ イスラエル
- ・ イタリア
- ・ オーストリア
- ・ オランダ
- ・ ギリシャ
- ・ ケニヤ
- ・ サウジアラビア
- ・ スイス
- ・ スウェーデン
- ・ スペイン
- ・ スロバキア
- ・ チェコ
- ・ デンマーク

- ・ ドイツ
- ・ トルコ
- ・ ナイジェリア
- ・ ノルウェー
- ・ ハンガリー
- ・ フィンランド
- ・ フランス
- ・ ベルギー
- ・ ポーランド
- ・ ボツワナ
- ・ ポルトガル
- ・ 南アフリカ
- ・ モーリシャス
- ・ モロッコ
- ・ ラトビア
- ・ ルーマニア
- ・ ルクセンブルグ
- ・ ロシア

アジア太平洋

- ・ インド
- ・ インドネシア
- ・ オーストラリア
- ・ シンガポール
- ・ タイ
- ・ 大韓民国
- ・ 中華人民共和国
- ・ 日本
- ・ フィリピン
- ・ マレーシア

日本産緑茶の 認知・経験

- 日本産緑茶の認知度は、欧米で約60%・アジア(フィリピン除く)で約90%、日本産緑茶の飲用経験は、欧米で約40%・アジア(フィリピン除く)で約70%に達しており、特にアジア地域において日本産緑茶は広く浸透している
 - アジアの消費者は、産地ラベル等を通じて日本産品を正しく見分けており、試飲においても、煎茶・深蒸し茶の違いにも敏感であるなど、緑茶に関する理解が進んでいる
- 各国共通で日本産緑茶の健康的なイメージが浸透しており、ネガティブなイメージを有している消費者は極めて少ない
- 試飲においては、日本産緑茶の香り、爽やかさを評価する消費者が多く、深蒸し茶より煎茶の人气が高い点も各国共通の特徴

日本産緑茶の 消費の特徴

- 日本産緑茶の飲用経験者は、アジア地域は週1回程度、欧米は月1回程度の飲用頻度が一般的であり、味を楽しむ・健康目的は各国で共通
- 各国共通で、「何も加えない」で日本産緑茶を飲用している割合が高いが、お酒を加えたり、ジャスミン茶に抹茶を加える等の飲み方をしているとの声も複数聞かれた
- 欧米では緑茶を自宅で楽しむ人が多いが、アジアの場合は日本食のチェーン店で料理と一緒に飲まれているケースが多く、日本食料理店の普及と合わせて、日本産緑茶が広まっている状況が伺える
- 日本産緑茶の購入チャネルは、スーパーマーケットが各国共通で一般的。欧米では、茶の専門店のプレゼンスも高く、アジアでは訪日時に緑茶を購入し、土産として持ち帰るケースも多い

日本産緑茶の 今後の消費意向

- 多くの消費者が日本産緑茶の飲用を継続・開始したいと考えており、特にアジア地域では9割に達する
- 販売形態としては、国毎にバラつきがあるものの、基本的にはティーバッグ形式が好まれる
- 欧米では中国産・インド産、アジアでは中国産・台湾産が主たる競合品であり、価格差を1.5倍程度以内に抑えていくことが日本産緑茶の更なる輸出拡大の上でポイント

1. 茶の消費動向に関する消費者アンケート調査の国別結果

2. 日本産緑茶の試飲調査の国別結果

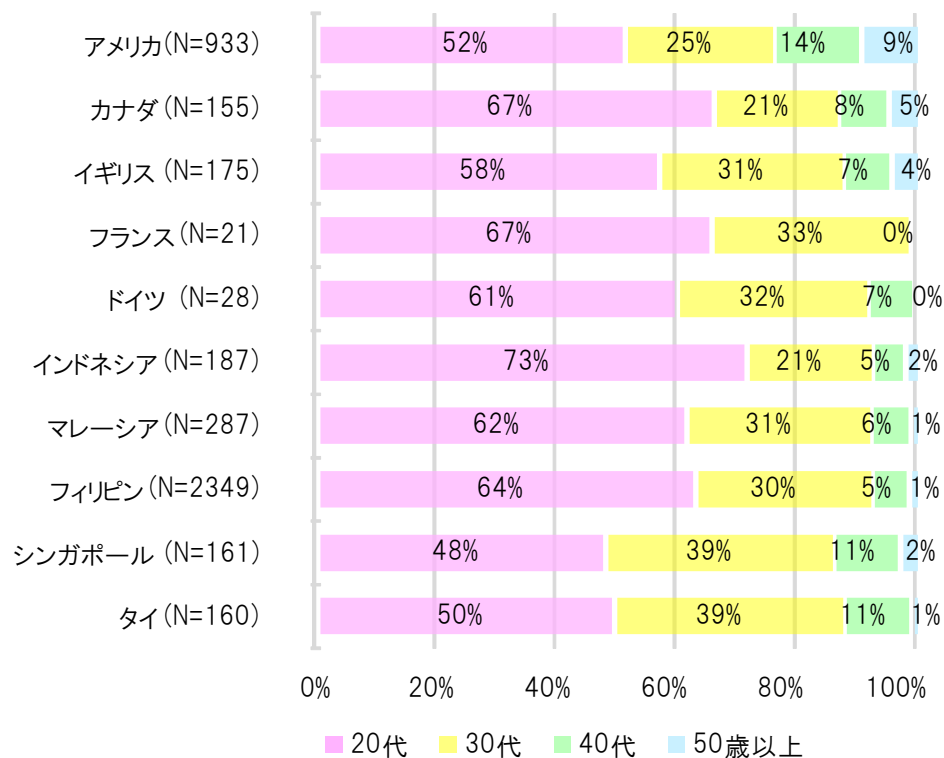
3. 海外で販売されている緑茶の収集

《参考》収集した各国緑茶一覧

調査手法

<p>調査対象国</p>	<ul style="list-style-type: none"> • アメリカ、カナダ、イギリス、フランス、ドイツ、インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ、その他
<p>調査対象者</p>	<ul style="list-style-type: none"> • アクセンチュア社海外オフィス社員及び同等の所得階層の消費者 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 日本産緑茶のターゲットとなり得る中間層以上が対象
<p>調査手法</p>	<ul style="list-style-type: none"> • インターネット経由でのアンケート調査

国別・年齢層別の回答者の割合



※無回答を除く

1. 茶の消費動向に関する消費者アンケート調査の国別結果

アンケート調査結果のサマリ(1/2)



アメリカ

- アメリカの消費者が日常的に飲んでいるのは、水(86%)やコーヒー(63%)。日本産緑茶を飲む頻度については6割強の人が「月に1回またはそれ以下」と回答。
- アンケート結果から、消費者は日本産緑茶をお茶専門店で購入し、自宅で飲む傾向が多く見られた。



カナダ

- カナダの消費者が日常的に飲んでいるのは、水(83%)やコーヒー(71%)。
- 消費者は、日本産緑茶をお茶専門店で購入し、自宅で飲む傾向が多く見られた。日本産を見分ける方法としては、ラベル(56%)、商品名(20%)、パッケージデザイン(11%)であった。
- 約4割の消費者が、「国内で日本産緑茶をみたことがない」と回答。



イギリス

- イギリスの消費者の約8割は、緑茶の産地を区別することは難しいと回答。日本産を見分ける方法としては、ラベルや商品名を参考にすると回答した人の割合が74%と高い。
- 消費者は、日本産緑茶をお茶専門店で購入し、自宅で飲む傾向が多く見られた。



フランス

- フランスの消費者の約9割は、緑茶の産地を区別することは難しいと回答。また、日本産緑茶を見かけたことはないという回答が52%あった。
- 日本産を見分ける方法としては、ラベルや商品名を参考にすると回答した人の割合が60%と多かった。
- 日本産緑茶を購入している人は、お茶専門店で購入し、自宅で飲む傾向が多く見られた。



ドイツ

- ドイツの消費者の約9割は、緑茶の産地を区別することは難しいと回答。また、日本産緑茶を見かけたことはないという回答が35%あった。
- 消費者は、日本産緑茶をお茶専門店で購入し、自宅で飲む傾向が多く見られた。日本産を見分ける方法としては、ラベル(44%)、パッケージデザイン(22%)、商品名(33%)であった。

1. 茶の消費動向に関する消費者アンケート調査の国別結果

アンケート調査結果のサマリ(2/2)



インドネシア

- インドネシアの消費者のうち約7割が日本の緑茶を日常的に飲んでいると回答。日本産緑茶の知名度は9割と非常に高い。飲む頻度について5割強の人が「週1回以上」と回答。
- 多くの消費者が外食時に日本食のチェーン店で日本産緑茶を飲んでいる。
- 飲み方については、何も加えないと回答する人が最も多かった。



マレーシア

- マレーシアの消費者のうち約7割が日本の緑茶を日常的に飲んでいると回答。飲む頻度について約7割の人が「週1回以上」と回答。また、日本産緑茶の知名度は9割と非常に高い。
- 多くの消費者が外食時に日本食のチェーン店で日本産緑茶を飲んでいる。
- 飲み方については、何も加えないと回答する人が最も多かった。販売形式のニーズとしてはティーバッグが6割と高くなっている。



フィリピン

- フィリピンの消費者が日常的に飲んでいるのは、水(89%)が最も多く、次いでコーヒー(69%)、ジュース類(68%)。緑茶を日常的に飲んでいる人の割合は53%と比較的低い。
- 消費者の約半数は日本産緑茶を飲むのは月1回程度で、場所はコーヒーショップと回答。
- 飲み方については、フィリピンでは約1割の人が「甘くする」「牛乳を加える」と回答しており、アレンジが好まれている。



シンガポール

- シンガポールの消費者のうち約6割が日本の緑茶を日常的に飲んでいると回答。日本産緑茶の知名度は8割強と高い。飲む頻度について6割強の人が「週1回以上」と回答。
- 多くの消費者が外食時に日本食のチェーン店で日本産緑茶を飲んでいる。
- 飲み方については、何も加えないと回答する人が最も多かった。



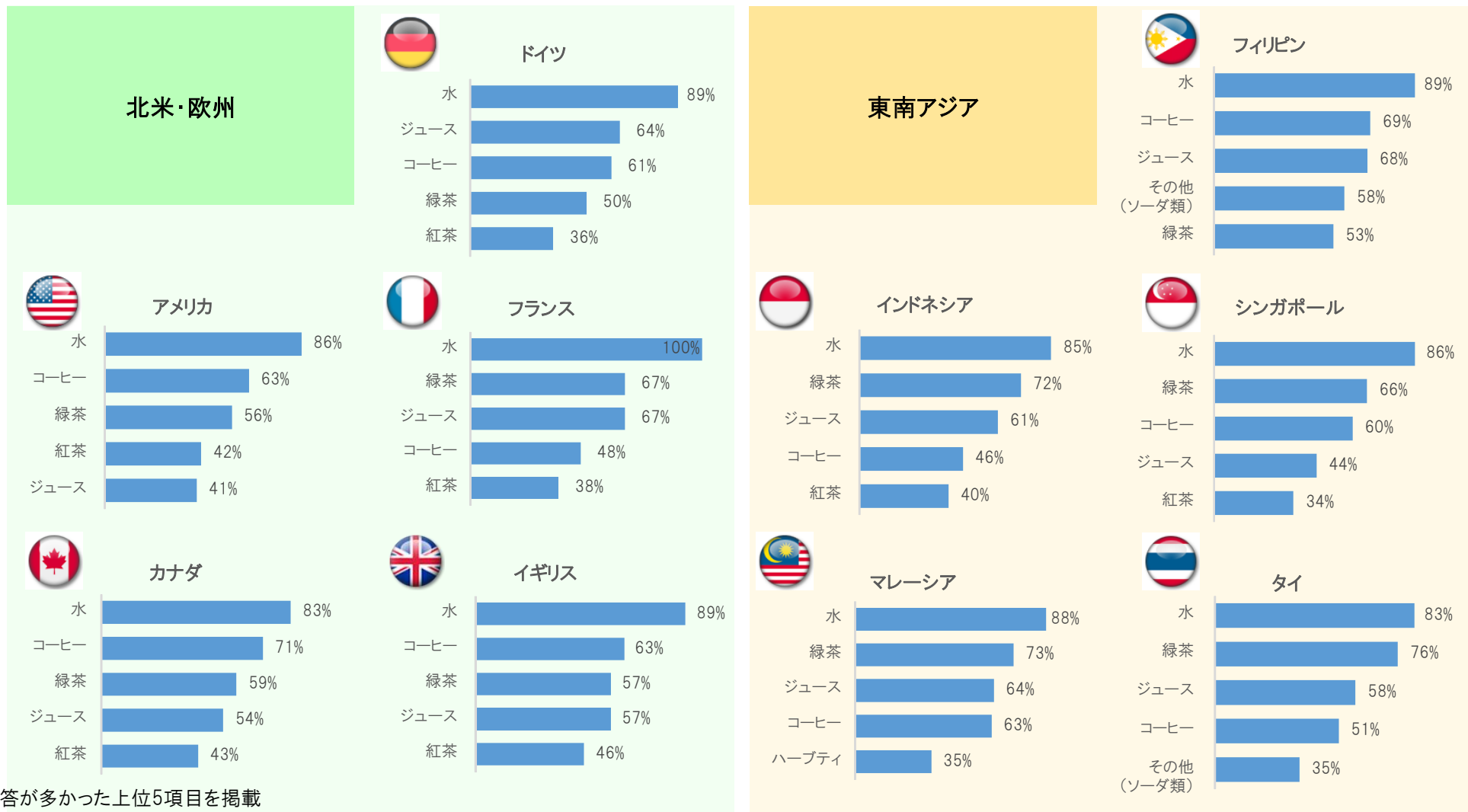
タイ

- タイの消費者のうち7割強が日本の緑茶を日常的に飲んでいると回答。日本産緑茶の知名度は95%と高い。飲む頻度について約70%の人が「週1回以上」と回答。
- 多くの消費者が外食時に日本食のチェーン店で日本産緑茶を飲んでいる。
- 飲み方については、20%の人が「甘くする」「牛乳を加える」と回答しており、アレンジが好まれている。また、販売形式のニーズとしてはボトル入りが27%と比較的多かった。

1. 茶の消費動向に関する消費者アンケート調査の国別結果

全ての国で最もよく飲まれているのは水。次いで、アジアでは緑茶を飲むと回答した国が多いが、欧米では緑茶よりコーヒー等の飲料を飲む消費者が多い。

Q. あなたがよく飲む飲み物(酒類を除く)を教えてください(複数選択)

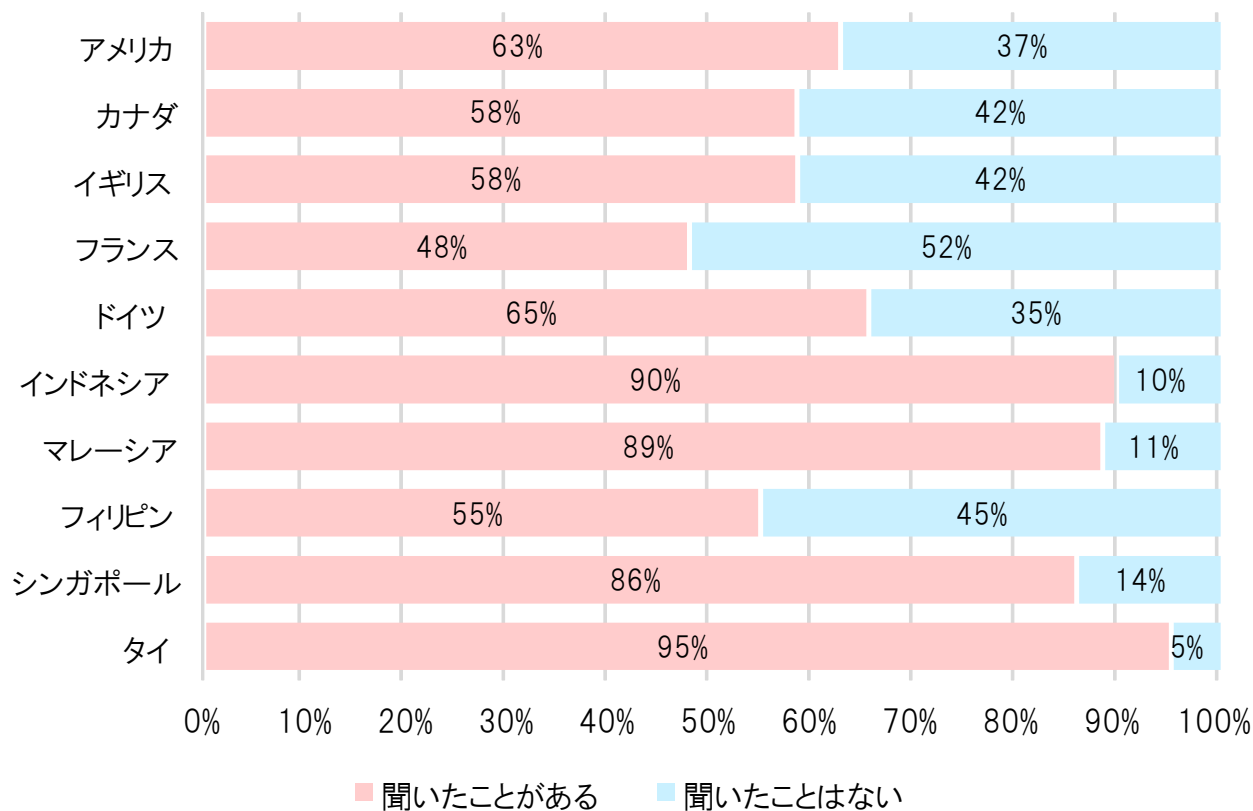


※回答が多かった上位5項目を掲載

1. 茶の消費動向に関する消費者アンケート調査の国別結果

日本産緑茶を見たり聞いたことがある人の割合は半数以上。特に、シンガポール・インドネシア、マレーシア、タイでは約9割が「ある」と回答しており、浸透していることが伺える。

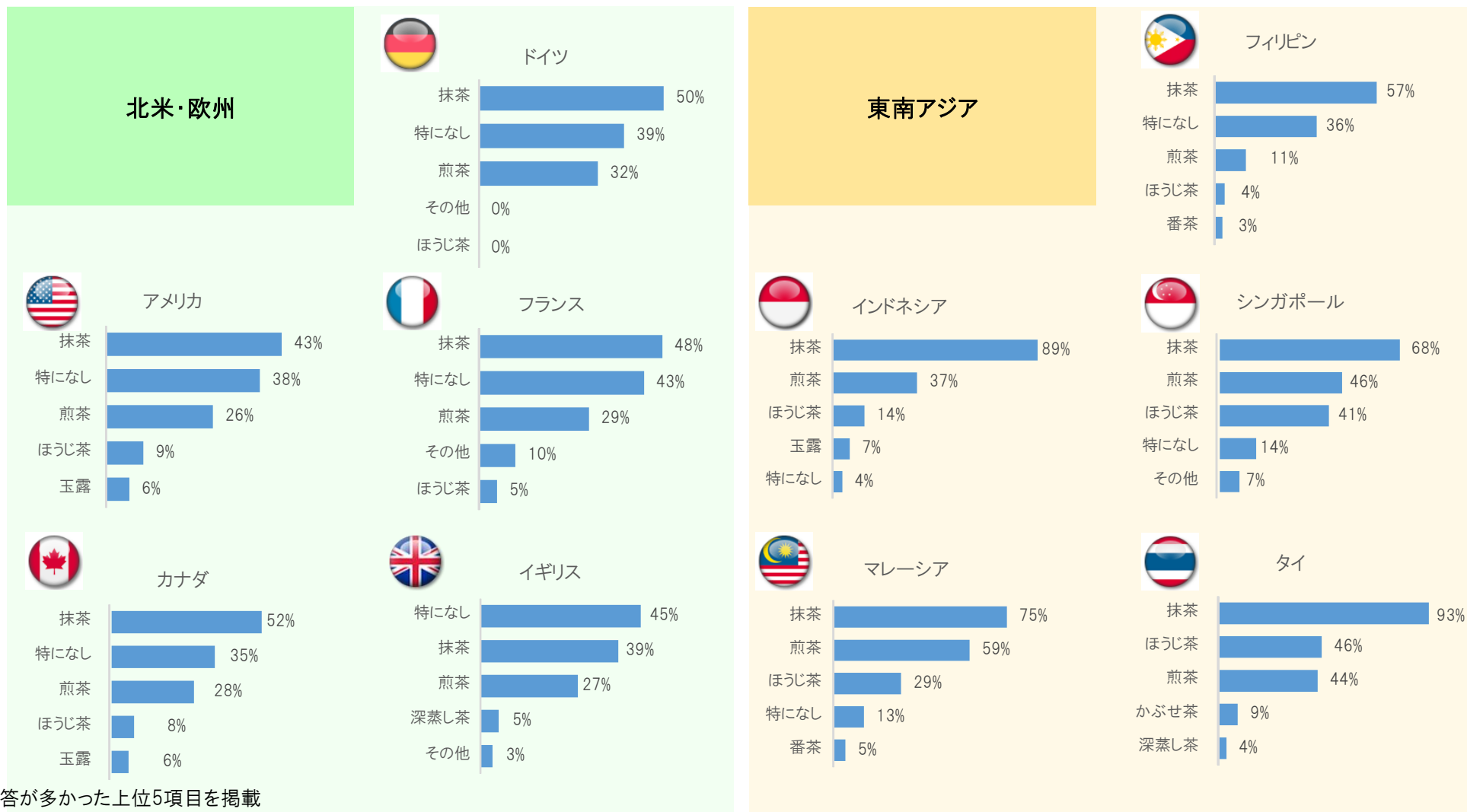
Q. あなたの国で日本の緑茶を見かけたり、聞いたりしたことはありますか



1. 茶の消費動向に関する消費者アンケート調査の国別結果

最も知名度が高いのは抹茶。次いで、煎茶、ほうじ茶が知られている。
 欧米に比べて、アジア諸国の方が緑茶の種類に対する認知度は高い傾向がある。

Q. あなたが知っている緑茶の種類を教えてください(複数選択)

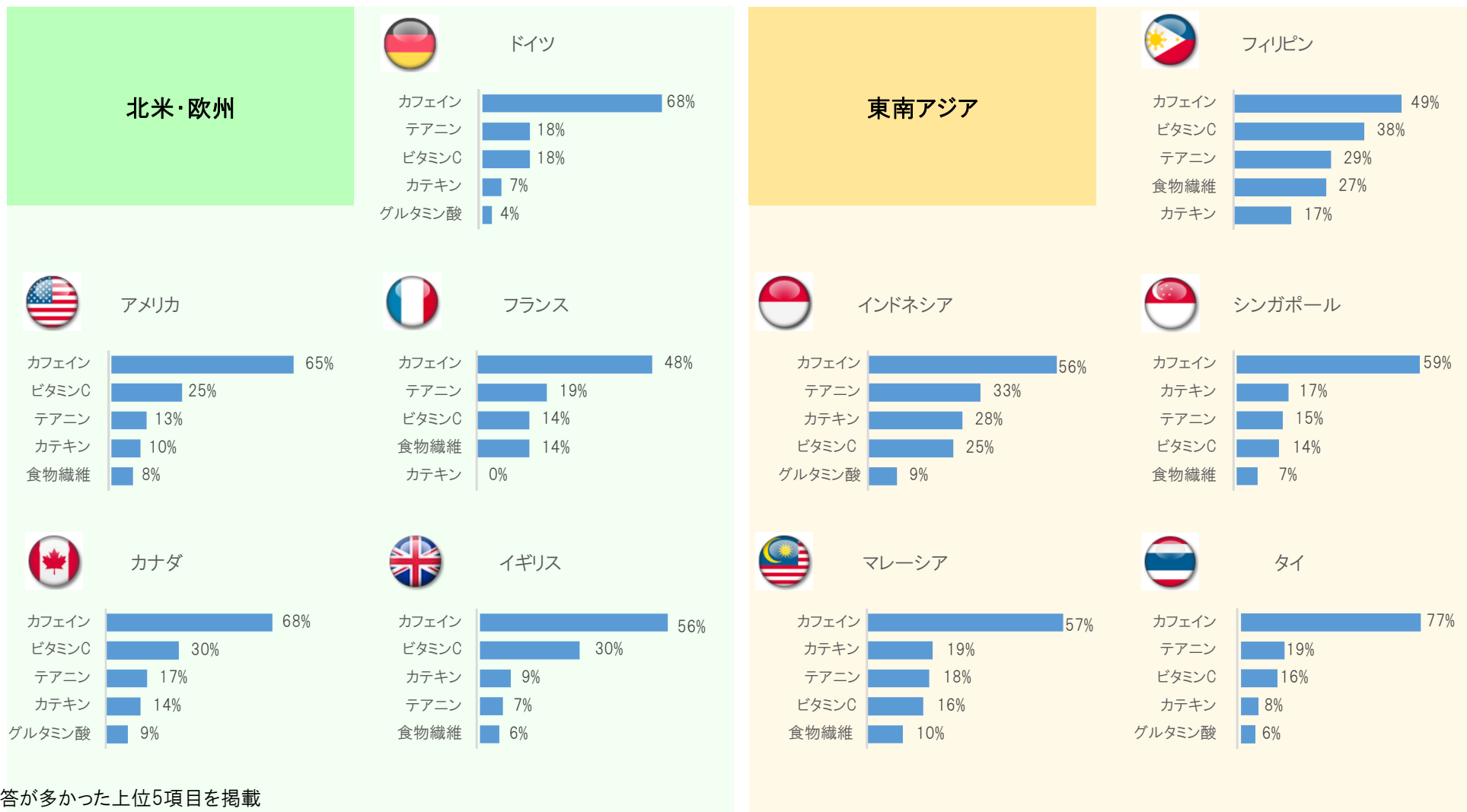


※回答が多かった上位5項目を掲載

1. 茶の消費動向に関する消費者アンケート調査の国別結果

緑茶に含まれる成分で最も知られているのはカフェイン。一方で、グルタミン酸や食物繊維が含まれていると知っている人は少数。

Q. あなたが知っている緑茶に含まれる成分について教えてください(複数選択)

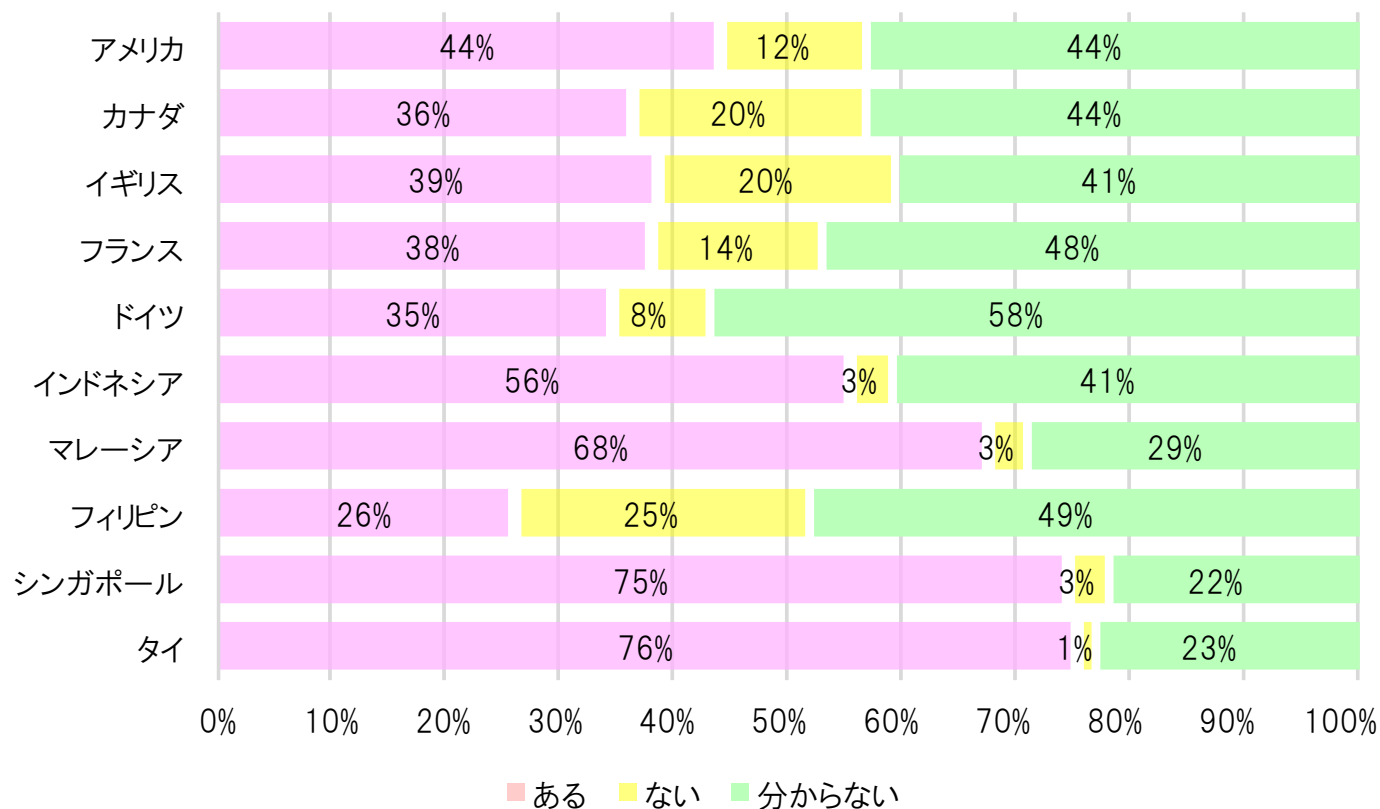


※回答が多かった上位5項目を掲載

1. 茶の消費動向に関する消費者アンケート調査の国別結果

欧米では「日本産緑茶を飲んだことがある」よりも「分からない」と回答する人の割合が多く、産地が意識されずに、緑茶が飲用されているケースが多いものと伺える。

Q. 日本産緑茶を飲んだことはありますか

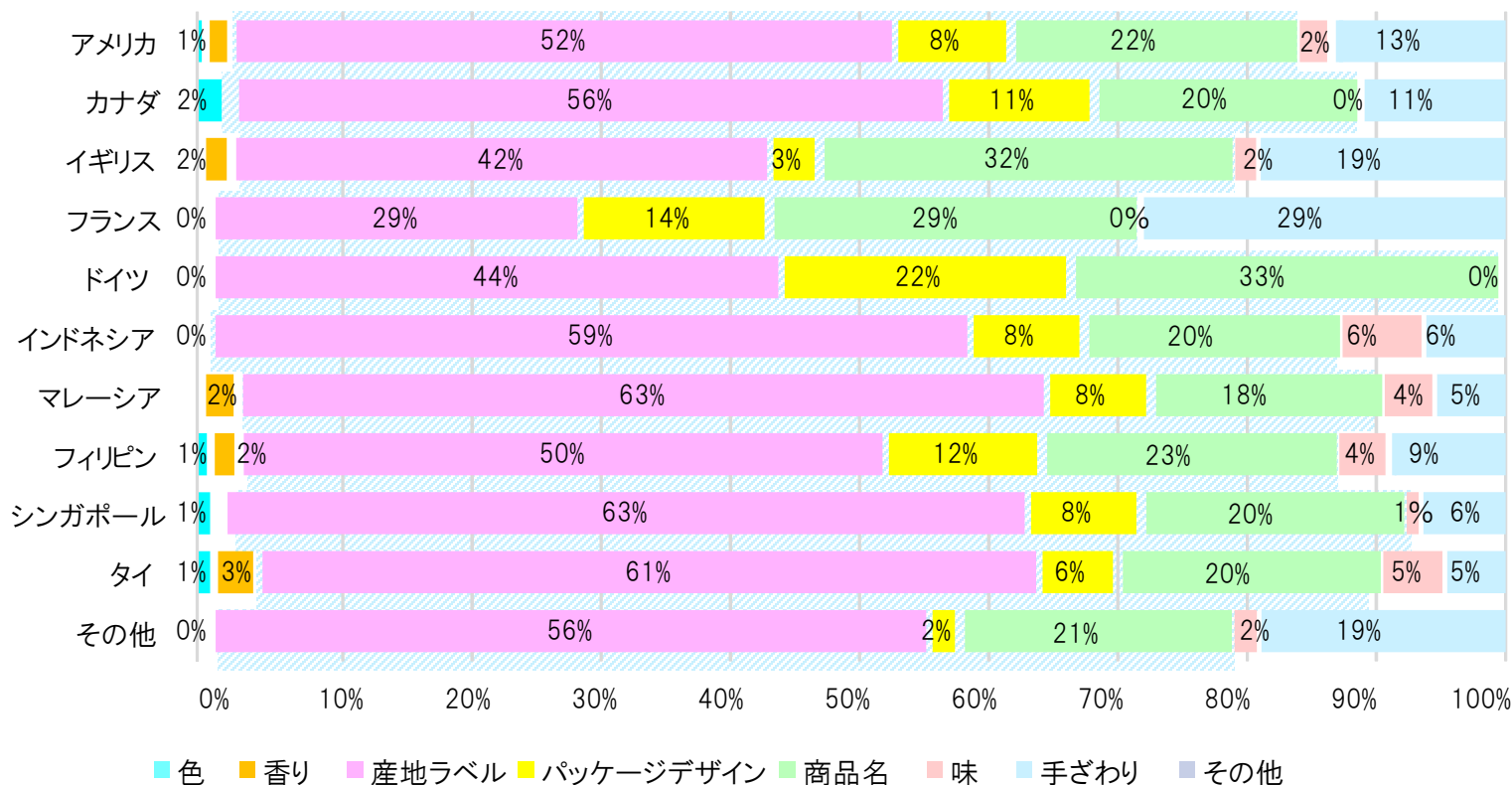


※無回答を除く

1. 茶の消費動向に関する消費者アンケート調査の国別結果

北米・アジアでは産地ラベルを通じて識別しているが、EUでは商品名(日本的な名前等)で識別しているケースが多く、中国産品と誤認しているケースも想定される。

Q. 日本産緑茶と分かった理由を教えてください



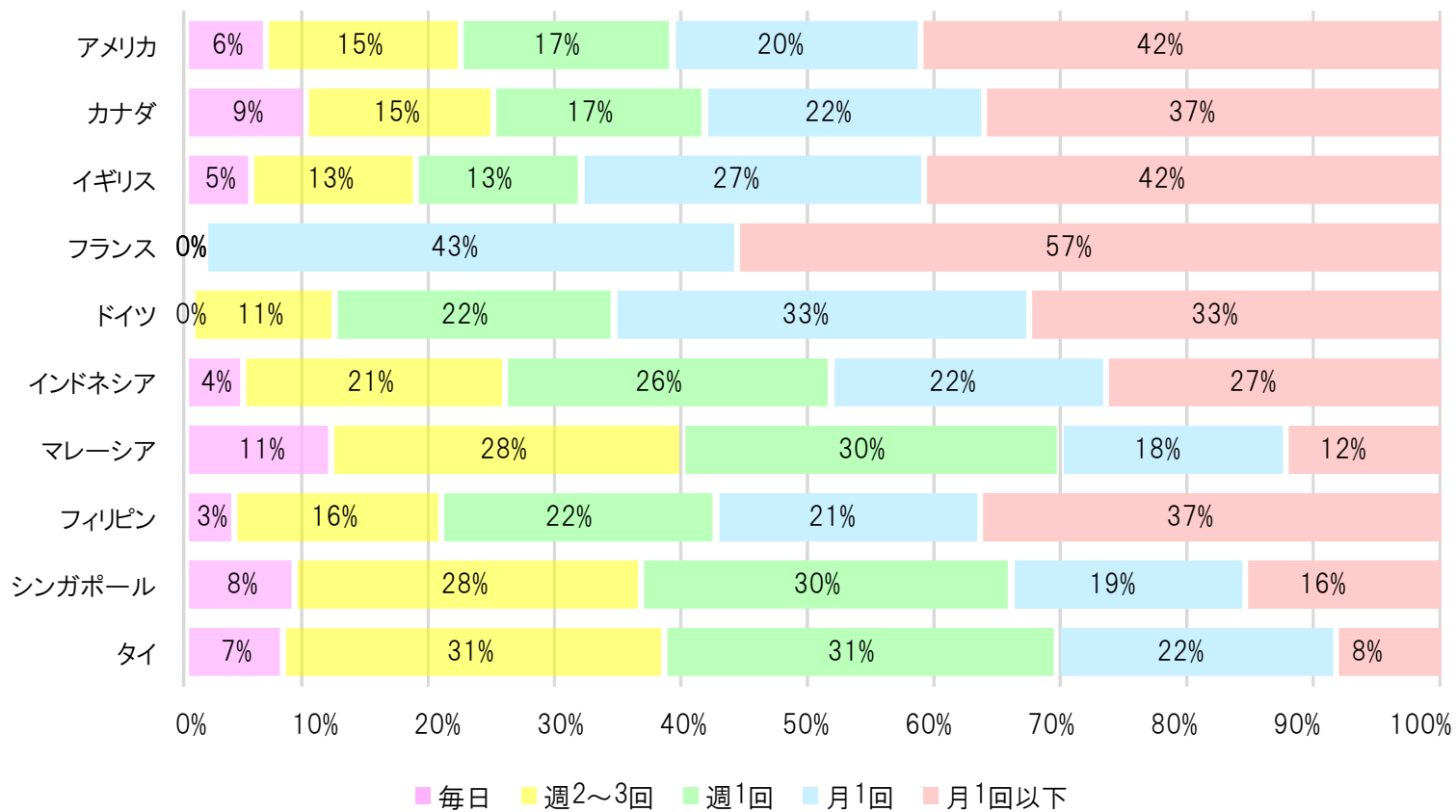
※無回答を除く

※緑色部分は、パッケージに関する項目(産地ラベル、パッケージデザイン、商品名)

1. 茶の消費動向に関する消費者アンケート調査の国別結果

マレーシア、シンガポール、タイの3か国では、週1回以上、日常的に日本産緑茶が飲まれている。一方で、フィリピンや欧米諸国では月1回程度が過半数を占めている。

Q. どの位の頻度で日本産緑茶を飲みますか



※無回答を除く

1. 茶の消費動向に関する消費者アンケート調査の国別結果

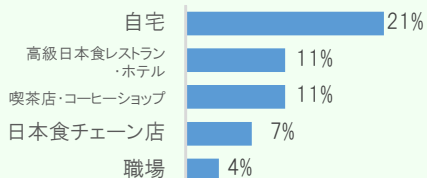
欧米では緑茶を買って帰り自宅で楽しむ人が多いが、アジアの場合は日本食のチェーン店で料理と一緒に飲まれているケースが多い。

Q. どこで日本産緑茶を飲みますか(複数選択)

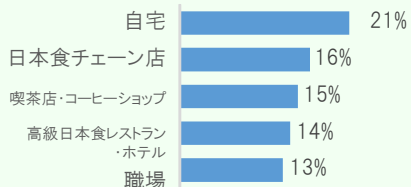
北米・欧州



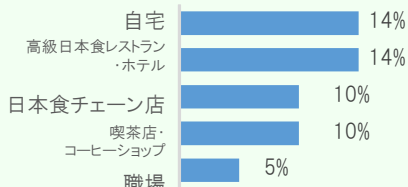
ドイツ



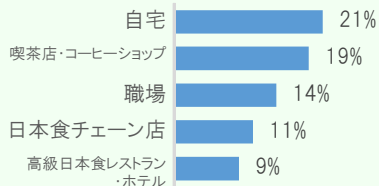
アメリカ



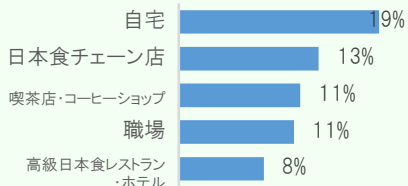
フランス



カナダ



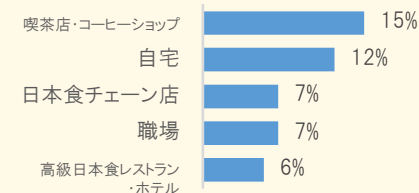
イギリス



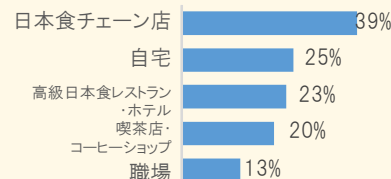
東南アジア



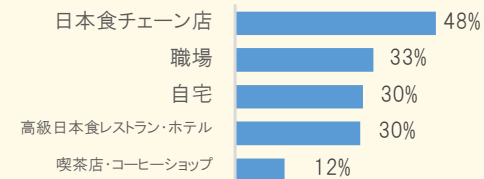
フィリピン



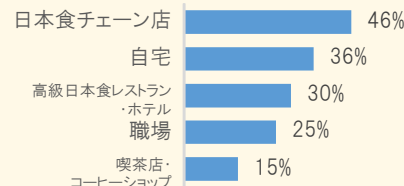
インドネシア



シンガポール



マレーシア



タイ



※回答が多かった上位5項目を掲載

1. 茶の消費動向に関する消費者アンケート調査の国別結果

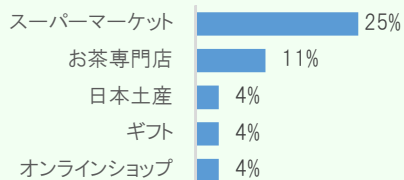
日本産緑茶の購入場所は、スーパーマーケットと回答する人が各国共通で多かった。欧米では、茶の専門店の割合も高く、アジアでは訪日時の土産購入のケースも多い。

Q. いつもどこで日本産緑茶を購入しますか(複数選択)

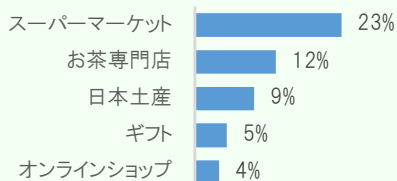
北米・欧州



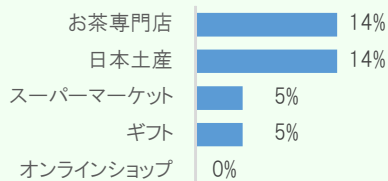
ドイツ



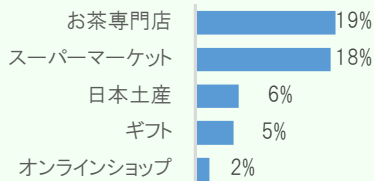
アメリカ



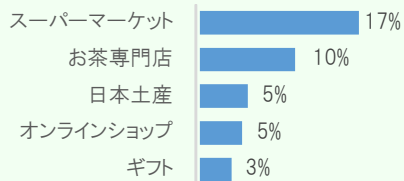
フランス



カナダ



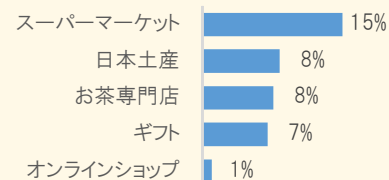
イギリス



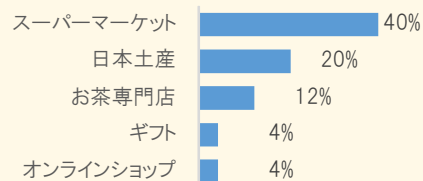
東南アジア



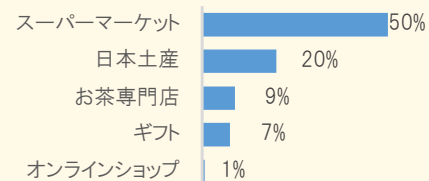
フィリピン



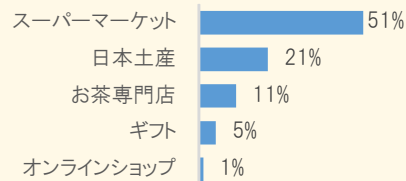
インドネシア



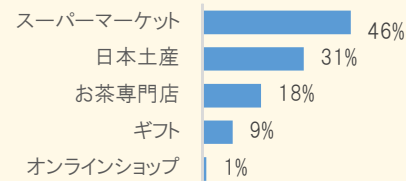
シンガポール



マレーシア



タイ

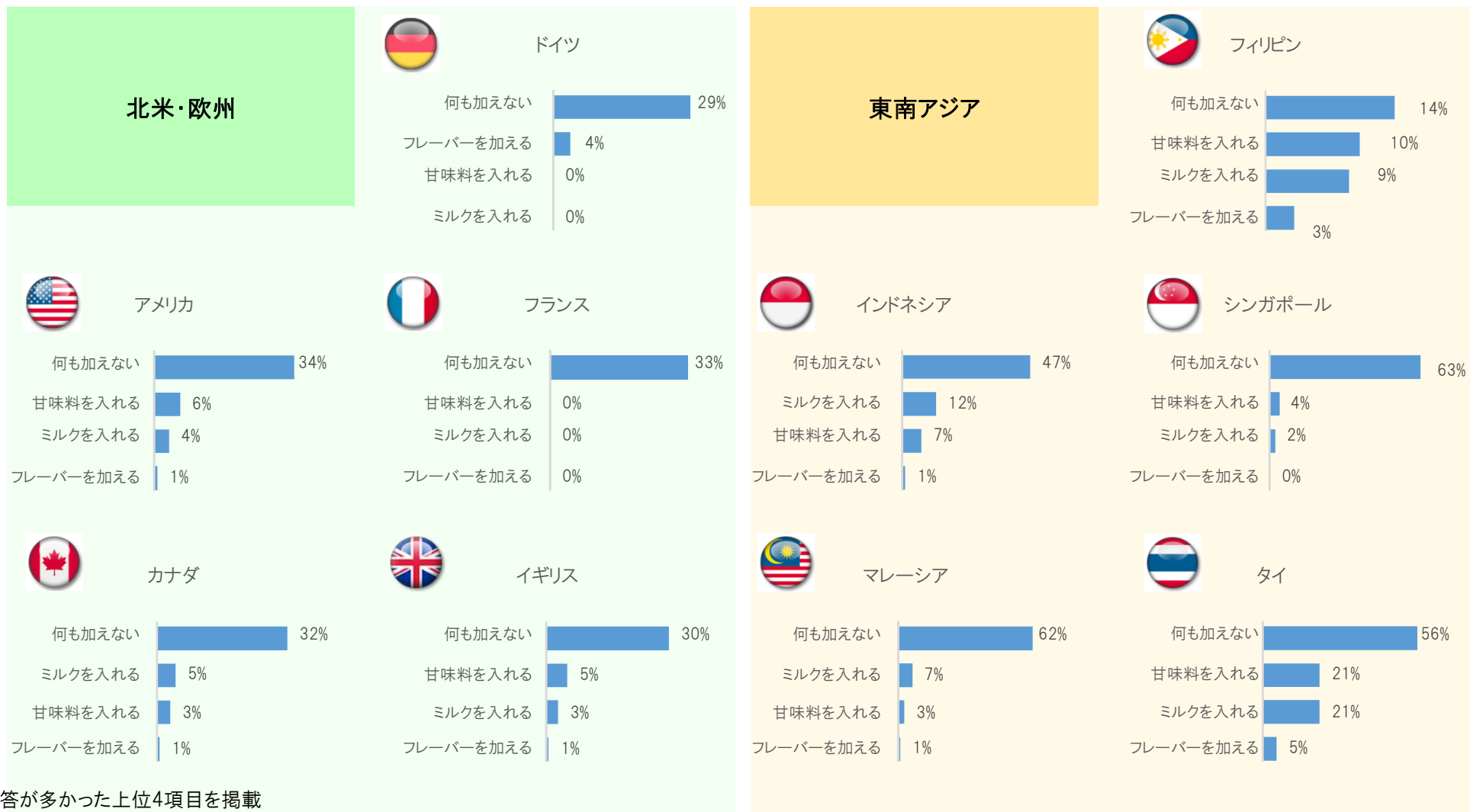


※回答が多かった上位5項目を掲載

1. 茶の消費動向に関する消費者アンケート調査の国別結果

緑茶には「何も加えない」との回答が各国とも最も多かった。自由回答では、お酒を加えたり、ジャスミン茶に抹茶を加える、との声も多数あった。

Q. 日本産緑茶の飲み方を教えてください(複数選択)



※回答が多かった上位4項目を掲載

1. 茶の消費動向に関する消費者アンケート調査の国別結果

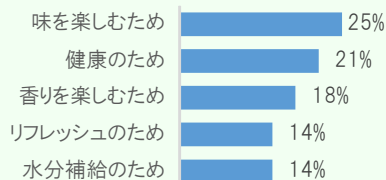
緑茶は味や香りを楽しむ目的以外に、消化を促すことなどからダイエットや健康促進のためにも選ばれているケースが多い。

Q. 日本産緑茶を飲む理由があれば教えてください

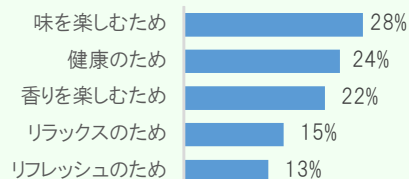
北米・欧州



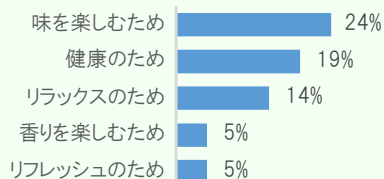
ドイツ



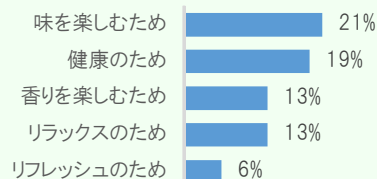
アメリカ



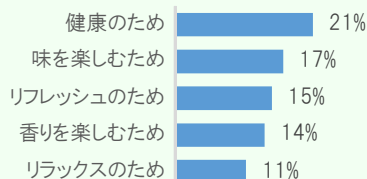
フランス



カナダ



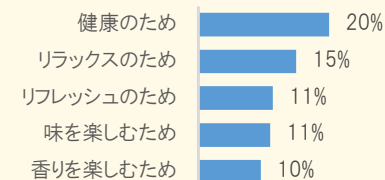
イギリス



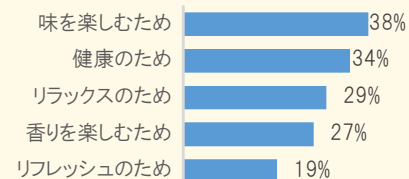
東南アジア



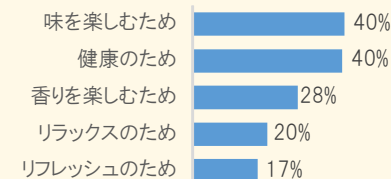
フィリピン



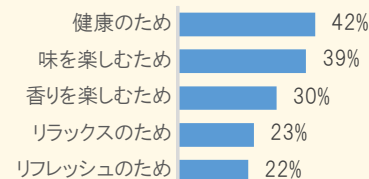
インドネシア



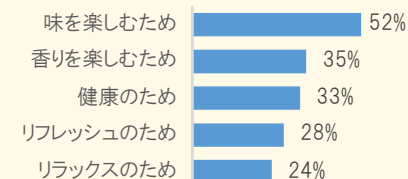
シンガポール



マレーシア



タイ



※回答が多かった上位5項目を掲載

1. 茶の消費動向に関する消費者アンケート調査の国別結果

知っている日本の緑茶ブランドは「伊藤園」との回答が多く見られた。他に、日本の老舗茶専門店からコーヒーショップの抹茶商品のような幅広い回答があった。

Q. あなたが知っている日本産緑茶の名前、製造企業を教えてください

アメリカ
<ul style="list-style-type: none">• 20代<ul style="list-style-type: none">• ITOEN (12)• teavana(2)• Yamamoto Yama(2)• O-i-o-cha(3)• 30代<ul style="list-style-type: none">• ITOEN(7)• teavana(2)• Republic of tea(2)• Gion Tsujiri(2)• 40代<ul style="list-style-type: none">• ITOEN(2)• teavana(2)• Twinings(2)• Yamamotoyama• 50歳以上<ul style="list-style-type: none">• ITOEN(5)• Tea Source• Mizuba• YAMAmotoYAMA

カナダ
<ul style="list-style-type: none">• 20代<ul style="list-style-type: none">• David's Tea(2)• Starbucks(2)• kirkland "the vert"• ITOEN• Tea shop - Jagasilk• Tajo• Yamamoto• 30代<ul style="list-style-type: none">• -• 40代<ul style="list-style-type: none">• Yamashiro Uji Maccha• 50歳以上<ul style="list-style-type: none">• Teavana(2)• The Way of Tea - Do Matcha• Japan Green Tea Co.,• Hibiki and Rishi• Domo• Murchies

※自由記入で回答が多かった順に掲載。()は回答者の数

1. 茶の消費動向に関する消費者アンケート調査の国別結果

(前頁の続き)

Q. あなたが知っている日本産緑茶の名前、製造企業を教えてください

イギリス

- 20代
 - Teapigs(2)
 - The Tea Makers of London
 - Love Green Teas
 - Matchaeologist
 - Be Love Body
 - Clippers
 - JING Tea
- 30代
 - Yamamotoyama
 - The Tea House
 - Clearspring
 - The Tea House, Covent Garden
- 40代
 - -
- 50歳以上
 - Rituals

フランス

- 20代
 - -
- 30代
 - -
- 40代
 - -
- 50歳以上
 - -

※自由記入で回答が多かった順に掲載。()は回答者の数

1. 茶の消費動向に関する消費者アンケート調査の国別結果

(前頁の続き)

Q. あなたが知っている日本産緑茶の名前、製造企業を教えてください

ドイツ

- 20代
 - -
- 30代
 - -
- 40代
 - -
- 50歳以上
 - -

インドネシア

- 20代
 - OSK Japan Sencha(4)
 - Pokka(4)
 - ITOEN(3)
 - Fukujuen Kyoto(3)
 - suntory(2)
 - Kirin(2)
 - hibiki-an(2)
 - Nui Green Tea(2)
- 30代
 - Twinings(2)
 - Allure(2)
 - ITOEN
 - Fukujen
 - Kirkland
- 40代
 - OSK Japanese Green Tea(2)
 - Pokka
- 50歳以上
 - -

※自由記入で回答が多かった順に掲載。()は回答者の数

1. 茶の消費動向に関する消費者アンケート調査の国別結果

(前頁の続き)

Q. あなたが知っている日本産緑茶の名前、製造企業を教えてください

マレーシア

- 20代
 - OSK(20)
 - TWG(2)
 - Tsujiri(3)
 - BOH(2)
 - Ippodo(2)
 - Itohkyuemon(2)
- 30代
 - OSK(11)
 - ITOEN
 - Kyoto hero matcha
 - Ujinotsuyu
 - Hojo
- 40代
 - TWG
 - OSK Japanese Green Tea
- 50歳以上
 - OSK
 - Ijijinotsuyuseicha

フィリピン

- 20代
 - Starbucks(12)
 - Lipton(9)
 - ITOEN(8)
 - kitkat(7)
 - Kirkland(4)
- 30代
 - Lipton(7)
 - Starbucks(5)
 - Kitkat(5)
 - Twinings(3)
- 40代
 - Starbucks(2)
 - Mizuba Tea(2)
 - Lipton(2)
 - Twinings(2)
- 50歳以上
 - Fukujuen
 - Ippodo
 - Aikokuseicha

※自由記入で回答が多かった順に掲載。()は回答者の数

1. 茶の消費動向に関する消費者アンケート調査の国別結果

(前頁の続き)

Q. あなたが知っている日本産緑茶の名前、製造企業を教えてください

シンガポール

- 20代
 - Ayataka(4)
 - Pokka(2)
 - OSK(3)
- 30代
 - OSK(5)
 - Pokka(5)
 - Heaven & Earth(2)
 - Tsujiri
 - Ayataka
- 40代
 - OSK(2)
 - Ta-Fu
 - red sun
 - Sakae Sushi Matcha
 - Nil.
 - Oolong TeA
- 50歳以上
 - -

タイ

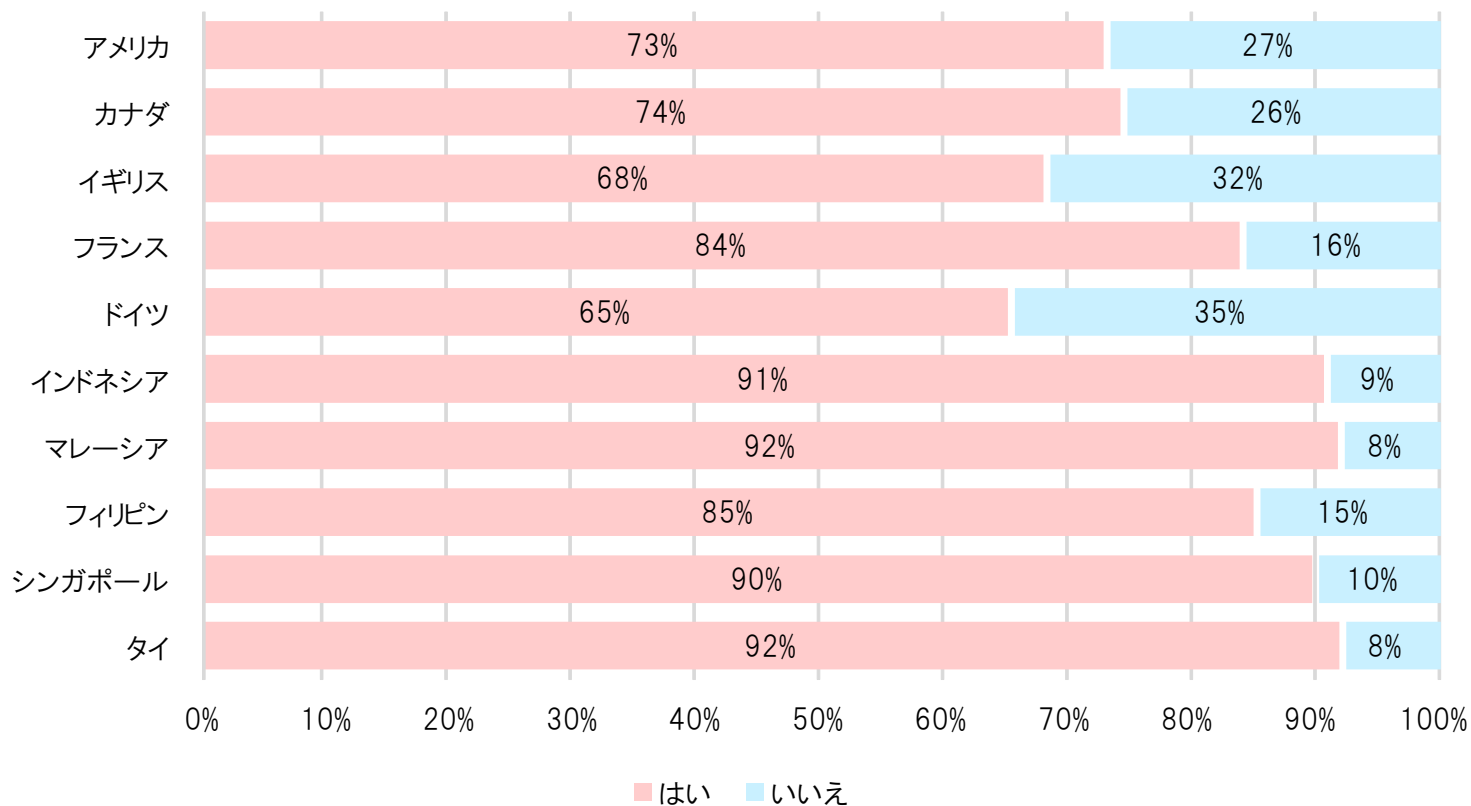
- 20代
 - ITOEN(10)
 - Fuji(7)
 - Oishi(5)
 - Strabucks(3)
 - iCHITAN(2)
 - T Plus
- 30代
 - ITOEN(6)
 - Ichi Tan(3)
 - oishi(3)
 - Nana Green Tea
 - SARASARA
- 40代
 - ITOEN(6)
 - Maryam
 - Oishi Green Tea in Thailand
 - Ooi Ocha
- 50歳以上
 - -

※自由記入で回答が多かった順に掲載。()は回答者の数

1. 茶の消費動向に関する消費者アンケート調査の国別結果

消費者の多くが日本産緑茶を飲み続けたいと考えており、特にアジアでの日本産緑茶の人気の高い。

Q. あなたは日本産緑茶を飲み続ける、または飲み始めようと思いますか

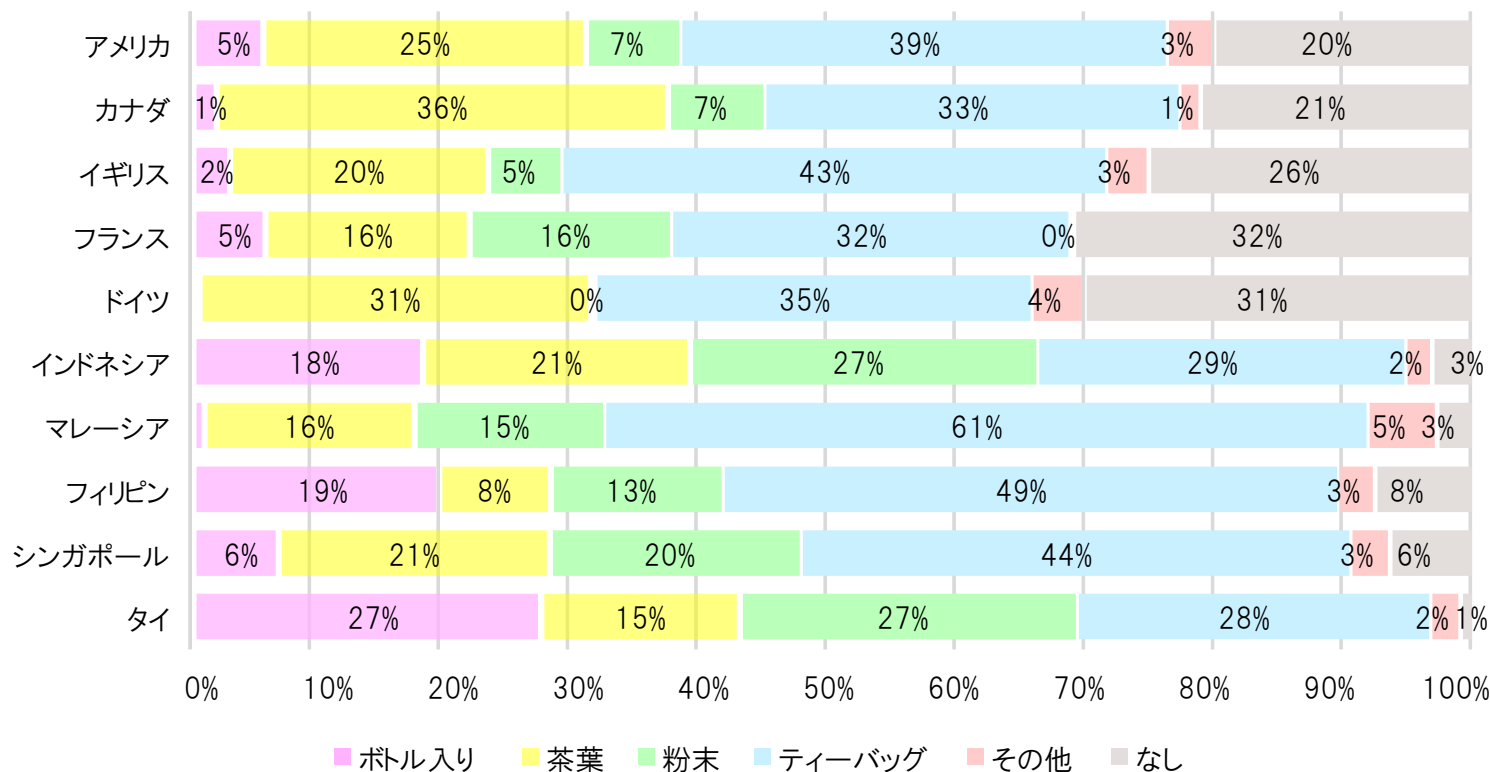


※無回答を除く

1. 茶の消費動向に関する消費者アンケート調査の国別結果

販売形態のニーズはバラつきがあるものの、ティーバッグ形式を好む回答が比較的多かった。その他に「伝統的な方法でお茶を淹れてもらいたい」などのコメントがあった。

Q. あなたはどのような状態の日本産緑茶が好きですか

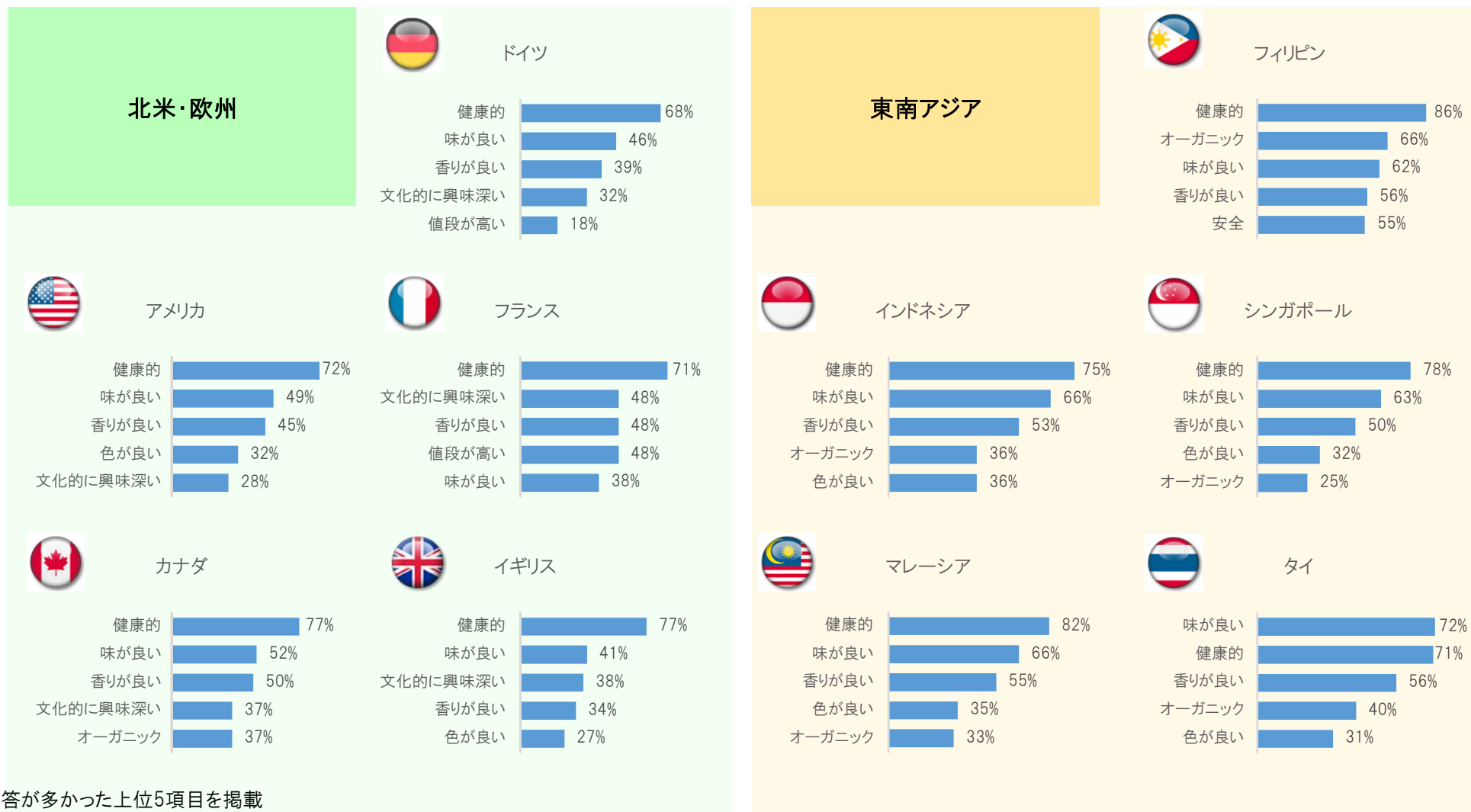


※無回答を除く

1. 茶の消費動向に関する消費者アンケート調査の国別結果

消費者は緑茶に対して「健康的」なイメージを持っている。また味や香りの良さ等も評価されており、ネガティブ(高い、不味い、不健康等)なイメージを持つ消費者はごく少数。

Q. 日本産緑茶について、どのようなイメージを思い浮かべますか(複数選択)

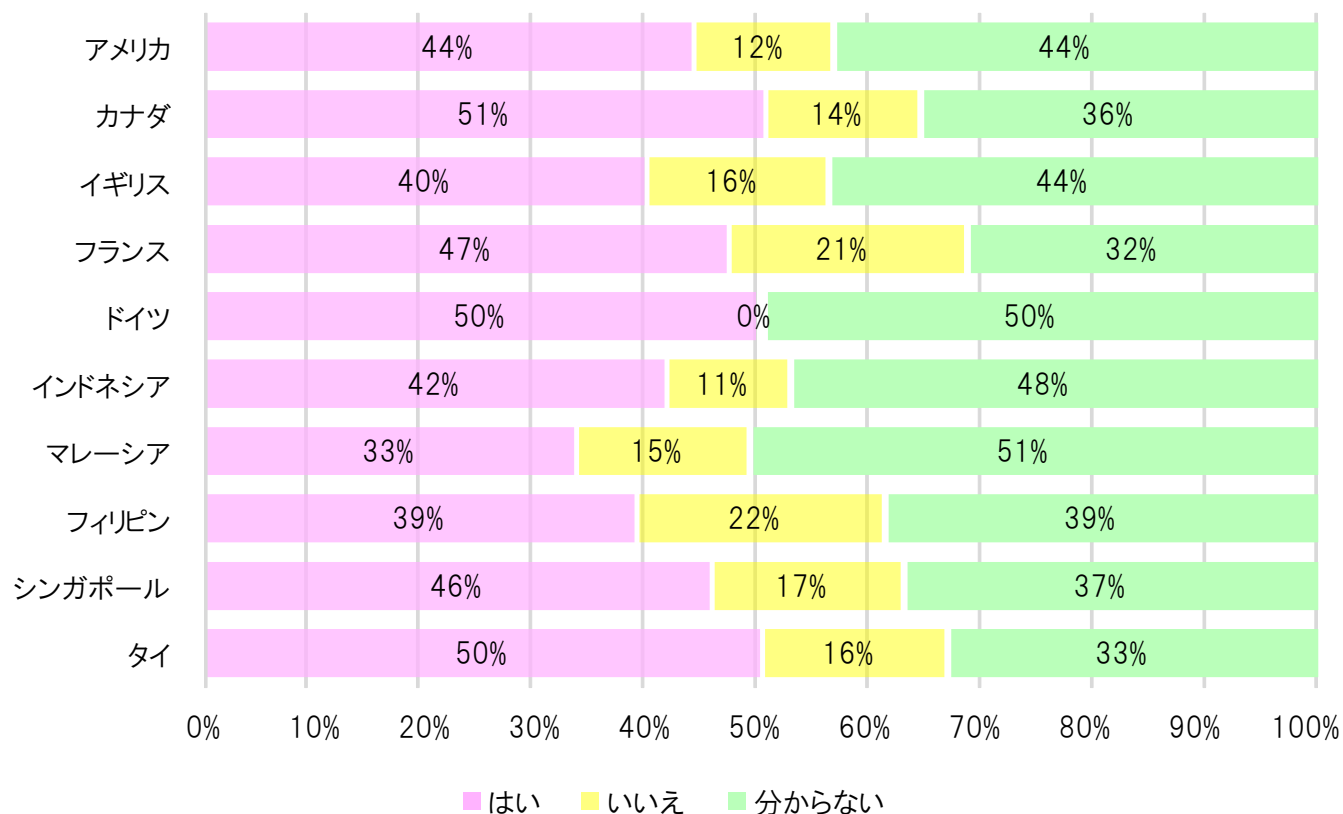


※回答が多かった上位5項目を掲載

1. 茶の消費動向に関する消費者アンケート調査の国別結果

日本産以外の緑茶を飲んだことがあると回答した消費者は、各国3割～5割程度。また、産地を意識していないという消費者も多い。

Q. 日本産以外の緑茶を飲んだことがありますか

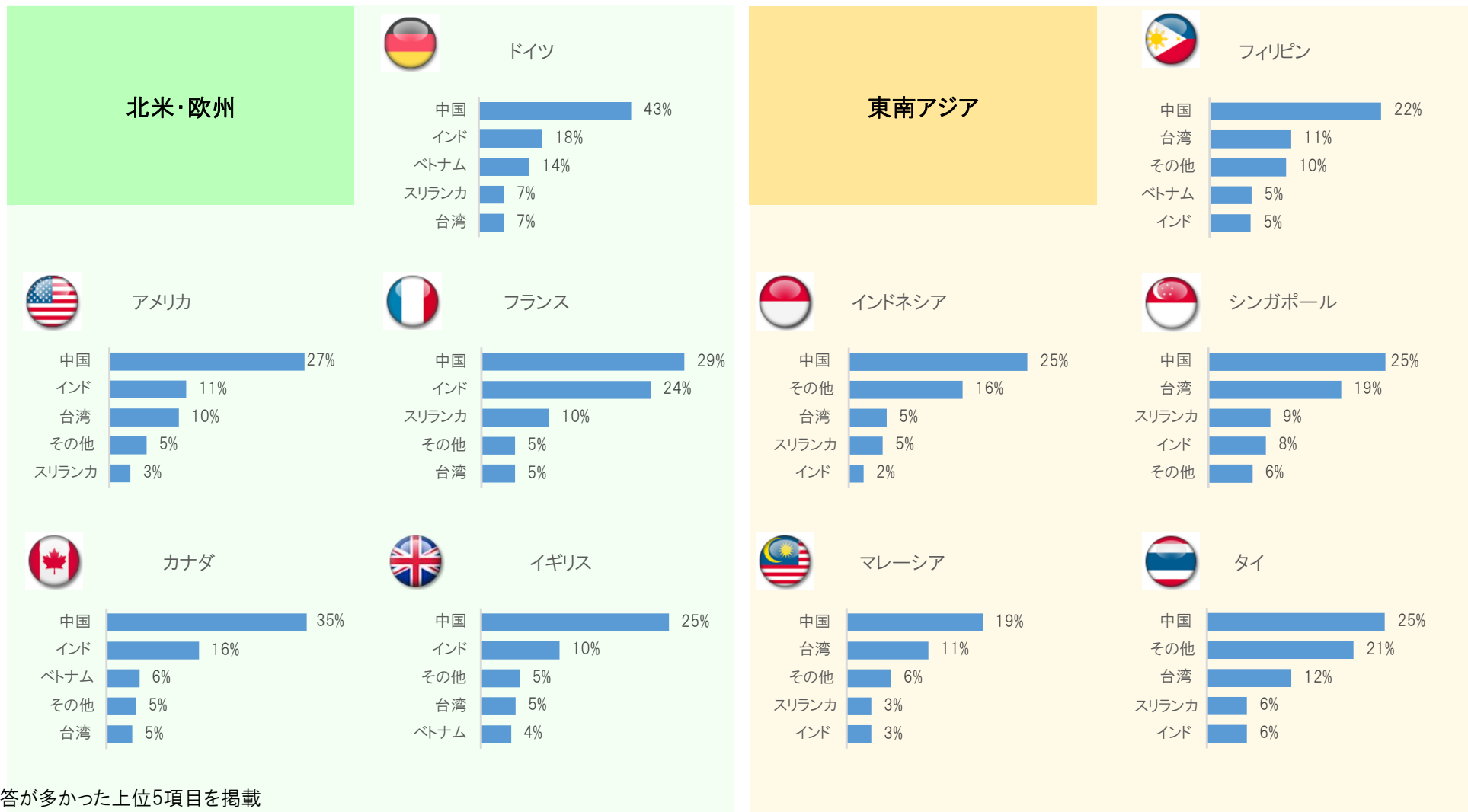


※無回答を除く

1. 茶の消費動向に関する消費者アンケート調査の国別結果

日本産以外で多かったのは中国産の緑茶。欧米では次いでインド産、アジアでは次いで台湾産の緑茶を飲んだことがあるという回答がそれぞれ多かった。

Q. その緑茶の産地はどこですか(複数選択)

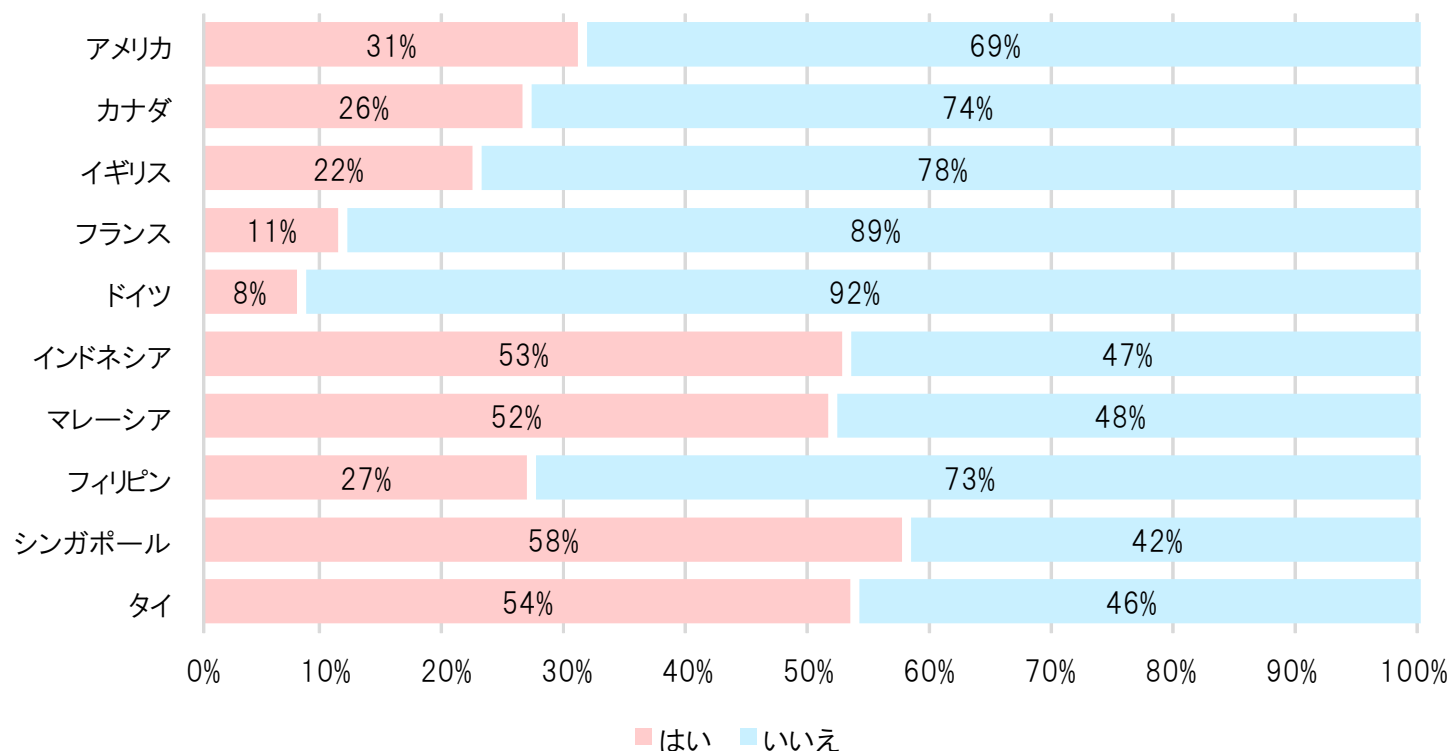


※回答が多かった上位5項目を掲載

1. 茶の消費動向に関する消費者アンケート調査の国別結果

欧米では、大半の消費者は、日本産と中国産の緑茶の区別がつかないと考えているが、フィリピンを除くアジアでは過半数の消費者が区別が付くと回答している。

Q. 日本産緑茶と中国産の緑茶の区別はつきますか

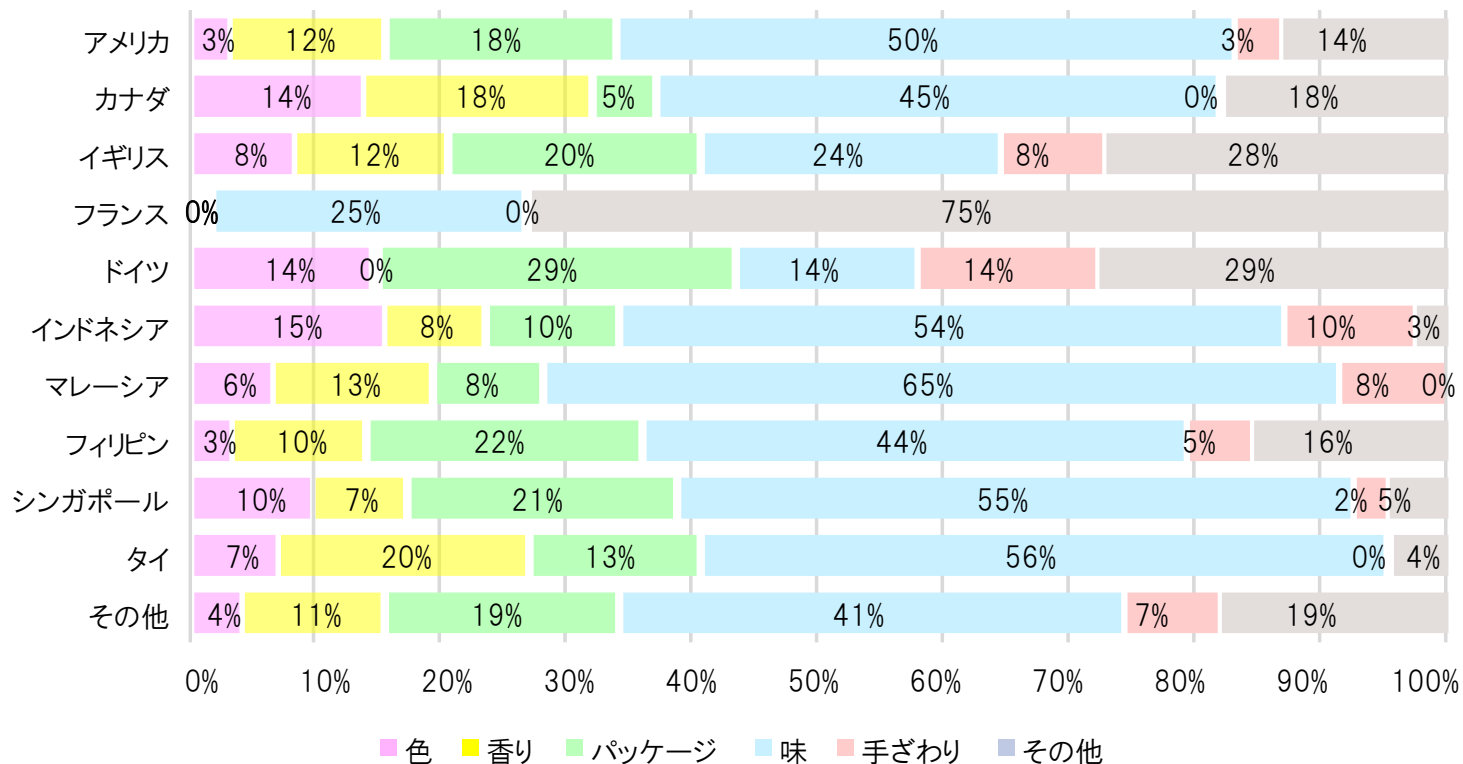


※無回答を除く

1. 茶の消費動向に関する消費者アンケート調査の国別結果

中国産と日本産緑茶を見分けられると答えた消費者の多くは、「味で判断可能」と回答しており、緑茶に慣れ、味の違いに敏感な消費者が多いことが伺える。

Q. 前の質問で「はい」と答えた方:どのように日本産と中国産を判断しますか

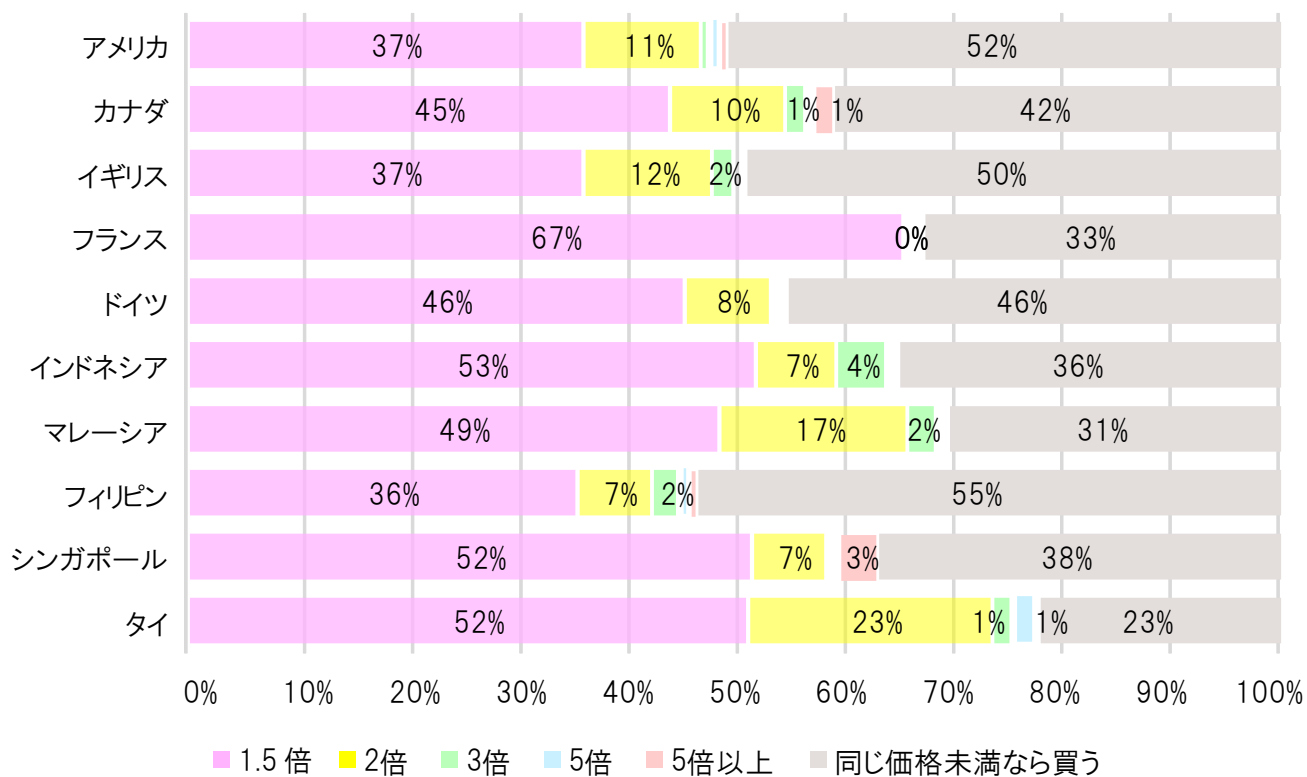


※無回答を除く

1. 茶の消費動向に関する消費者アンケート調査の国別結果

消費者が日本産緑茶を購入しても良いと考える価格帯は、概ね他国産の商品の1.5倍までが目安。

Q. 他国で作られた緑茶と比べて、日本産を購入しても良いと思う価格を教えてください

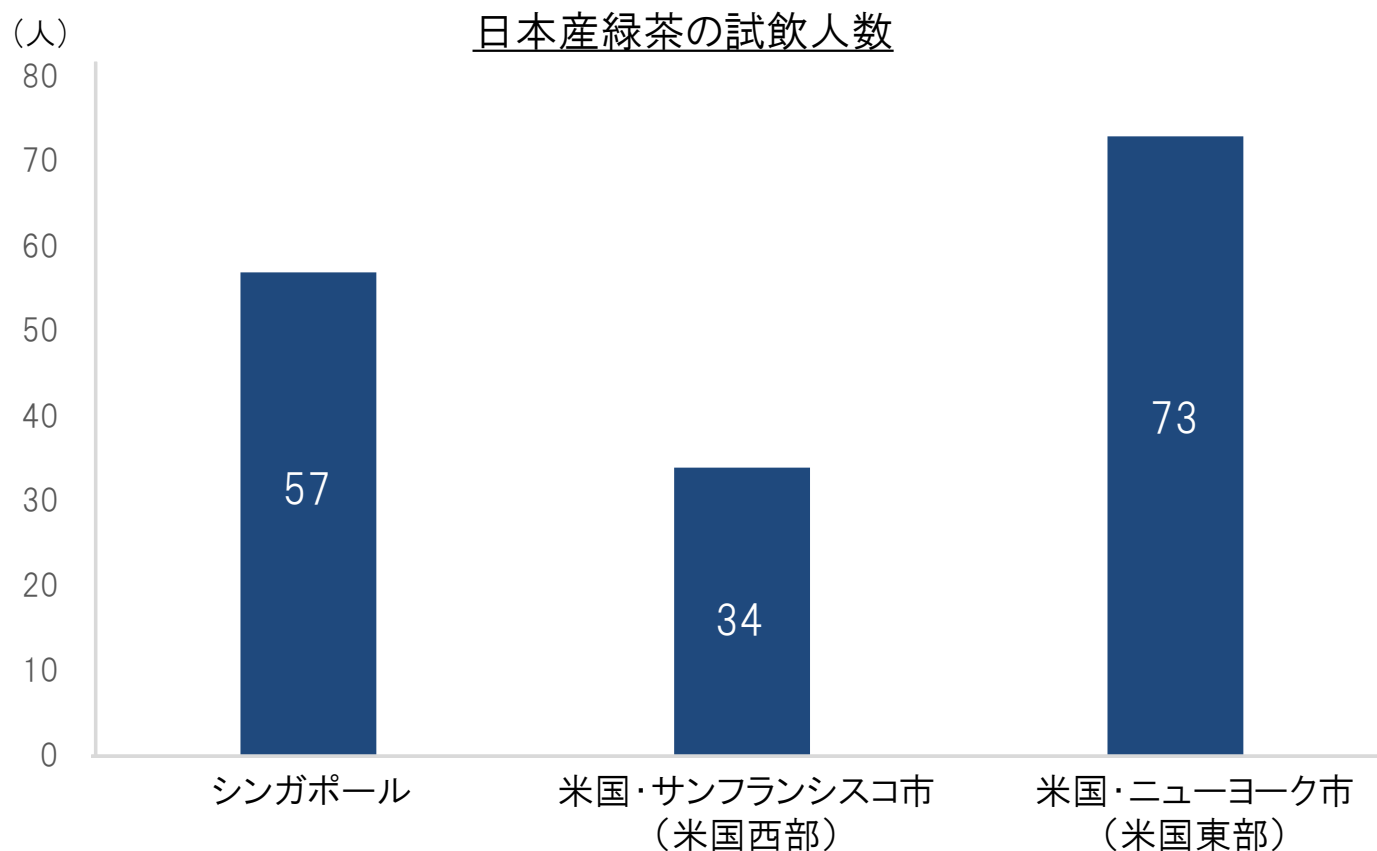


※無回答を除く

1. 茶の消費動向に関する消費者アンケート調査の国別結果
 2. 日本産緑茶の試飲調査の国別結果
 3. 海外で販売されている緑茶の収集
- 《参考》収集した各国緑茶一覧

2. 日本産緑茶の試飲調査の国別結果

合計で164人のアクセンチュア社社員を対象に、煎茶・深蒸し茶の試飲を実施。米国ニューヨーク市での参加者が一番多く、その次はシンガポール。

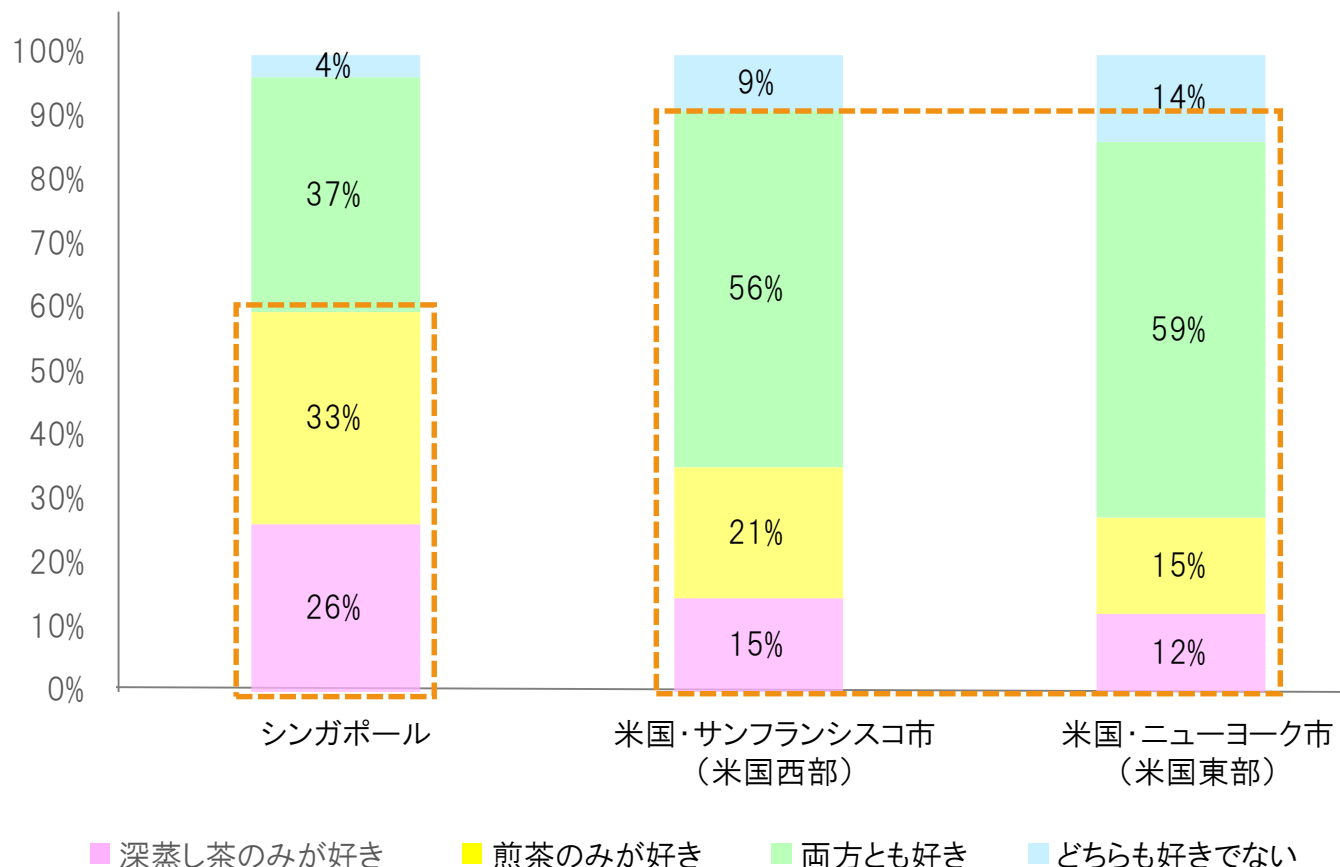


- シンガポール、米国のサンフランシスコ市、ニューヨーク市のアクセンチュアオフィスで日本産緑茶の試飲を実施
- 試飲会に参加者は主にアクセンチュア社員（※海外オフィス社員は、各国において中流以上の所得層に該当）

2. 日本産緑茶の試飲調査の国別結果

試飲会では、概ね9割以上の参加者が「日本産緑茶が好き」と回答しており、どちらかと言うと煎茶の人気の高い。また、シンガポールでは、深蒸し茶と煎茶で好み分けられたことから、緑茶の味の違いを理解する層が多いと考えられる。

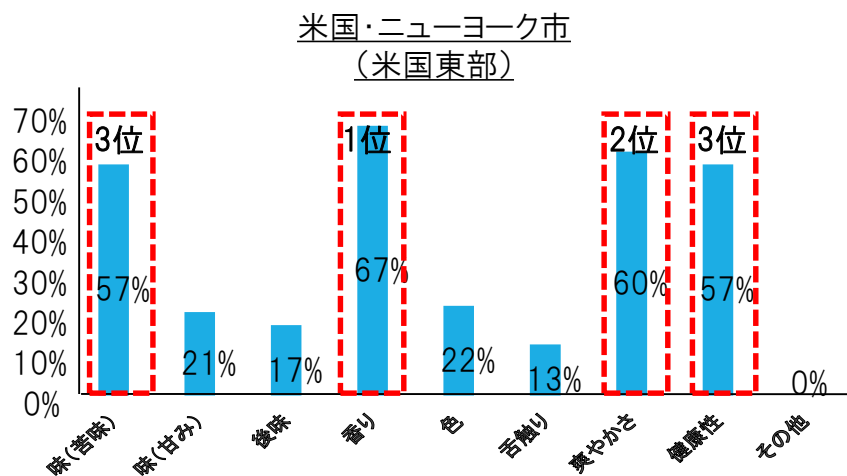
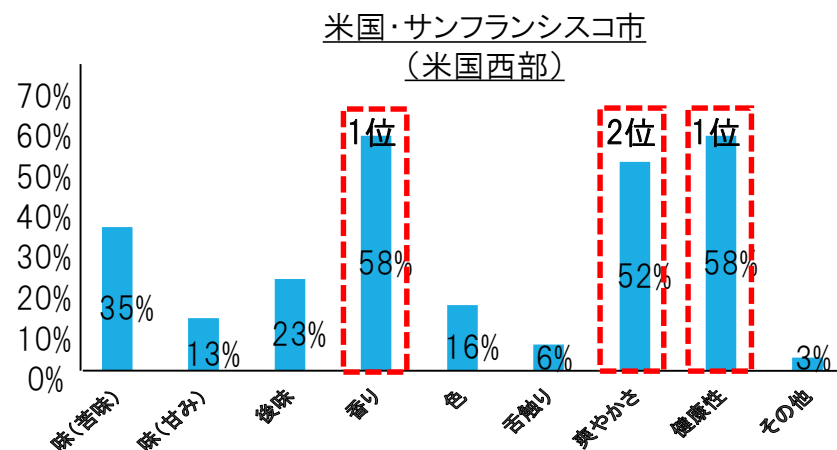
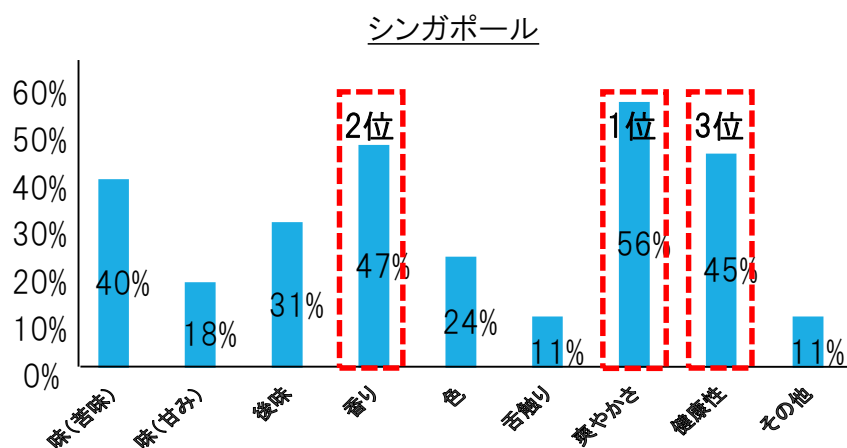
試飲した緑茶に対する評価



2. 日本産緑茶の試飲調査の国別結果

いずれかの緑茶又は両方の緑茶を好きと回答した消費者の理由は、3地域ともに「香り」「爽やかさ」「健康性」の回答が多かった。

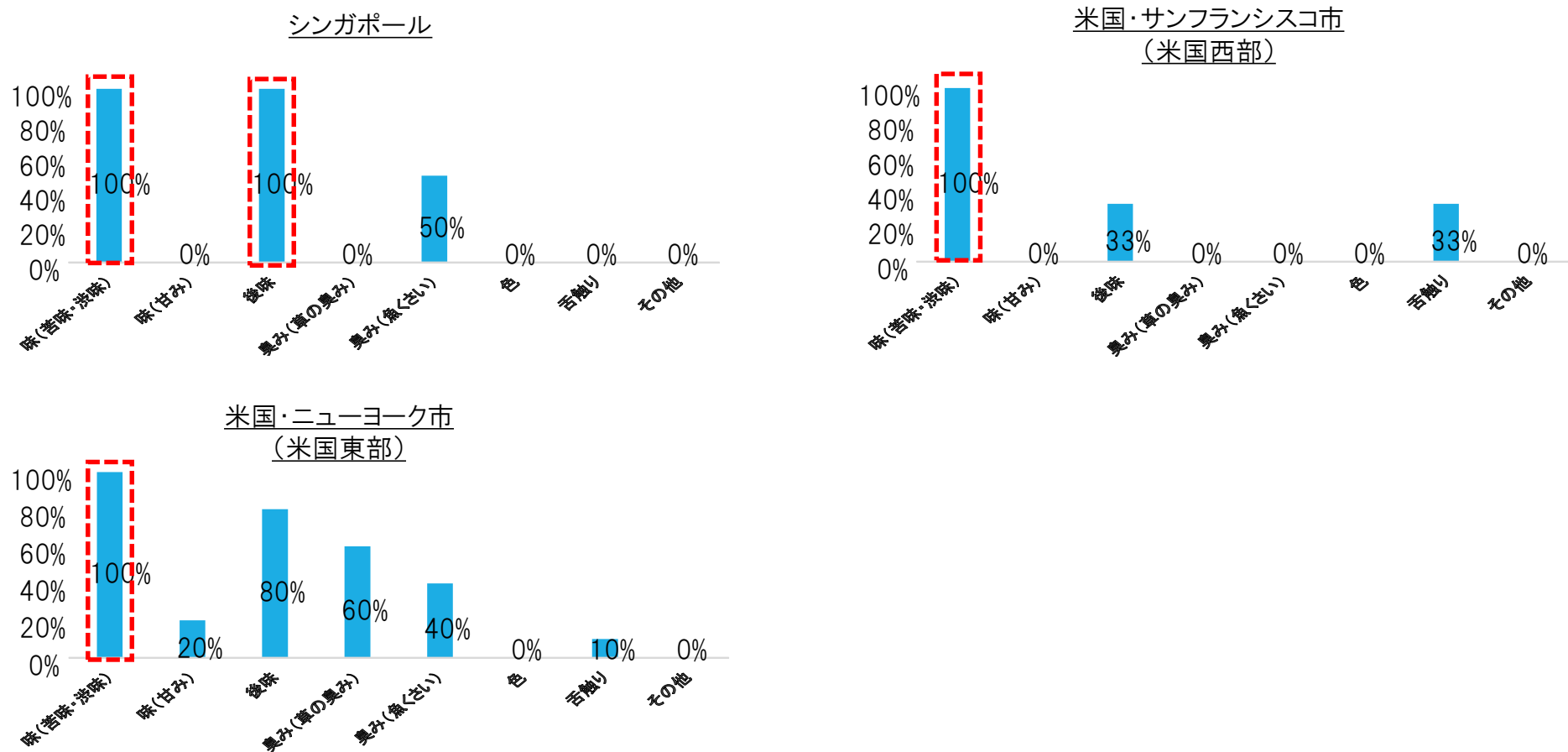
日本緑茶が好きな理由の割合(複数選択)



2. 日本産緑茶の試飲調査の国別結果

一方で、「どちらも好きではない」と回答した人にその理由を聞いたところ、「苦味や渋み」と回答した人が多かった。

日本緑茶が嫌いな理由の割合(複数選択)



1. 茶の消費動向に関する消費者アンケート調査の国別結果
2. 日本産緑茶の試飲調査の国別結果
3. 海外で販売されている緑茶の収集

《参考》収集した各国緑茶一覧

3. 海外で販売されている緑茶の収集 - イギリス・ロンドン(Wholefoods)

Wholefoods

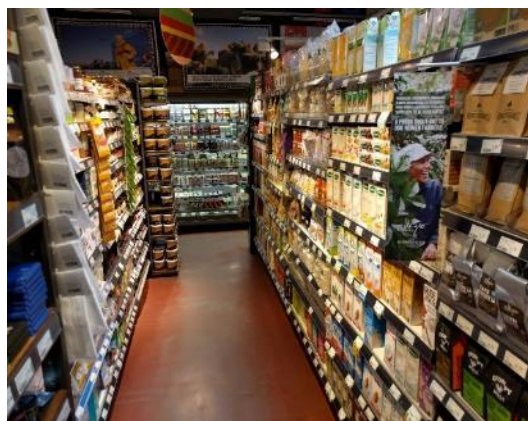


【住所】

- 32-40 Stoke Newington Church St, London N16 0LU

【概要】

- 一般的にアッパーミドルクラス、中間層が顧客層
- 緑茶の商品販売について、特に顧客層の所得階層は特定されておらず、様々な階級の顧客もいる
- 販売の緑茶は、主にティーバッグ形式



→ 主に白人系の現地中間層と見られる顧客が緑茶を選択している



→ 主な緑茶商品は、イギリス産ティーバッグ(約2ポンド~4ポンド)、日本産の抹茶(約10ポンド)



【左上】オーガニック緑茶(1.99ポンド/40g、ティーバッグ、イギリス産)

【左下】オーガニックジャスミン緑茶(2ポンド/40g、ティーバッグ、イギリス産地)

【右上】オーガニック抹茶(9.99ポンド/40g、粉末、日本産)

【右下】緑茶(4ポンド/20g、ティーバッグ、イギリス産)

3. 海外で販売されている緑茶の収集 - イギリス・ロンドン(Longdan)

Longdan



【住所】

- 25 Hackney Rd, London E2 7NX

【概要】

- 主な顧客は低所得層から中間層
- 緑茶を購入するのは、中産階級のイギリス人が中心。日本の抹茶は流行している
- ティーバッグ形式での取扱いが多い



→ ロンドンの住宅街にあるアジア・エスニック食材を取り扱う店舗



→ 日本産、中国、香港、タイなど、アジア各国の緑茶を取りそろえている
価格帯は5ポンド以下が主流



- ①煎茶(4.75ポンド/40g、ティーバッグ、日本産)
- ②ジャスミン茶(1.2ポンド/50g、ティーバッグ、香港産)
- ③緑茶(0.95ポンド、ティーバッグ、中国産)
- ④緑茶(2.5ポンド/100g、茶葉、タイ産)
- ⑤煎茶(5ポンド/100g、ティーバッグ、日本産)
- ⑥緑茶(1.3ポンド/50g、ティーバッグ、香港産)
- ⑦オーガニック煎茶(3.35ポンド/40g、ティーバッグ、日本産)
- ⑧オーガニック煎茶・抹茶ブレンド(3.8ポンド/40g、ティーバッグ、日本産)

3. 海外で販売されている緑茶の収集 - イギリス・ロンドン(Fortnum & Mason)

Fortnum & Mason



→ 地元ロンドンの富裕層や観光客が多く利用している



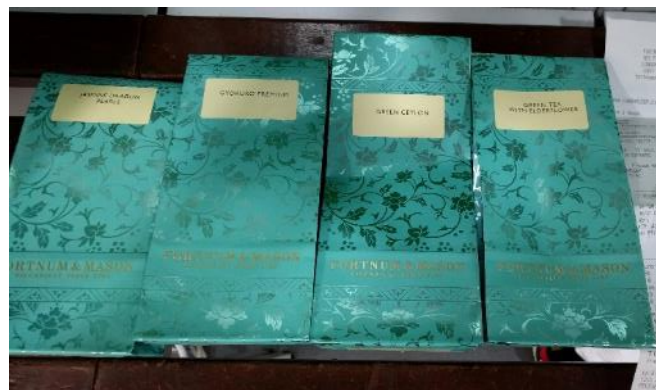
→ 売れ筋はフレーバー付の茶葉の商品

【住所】

- 181 Piccadilly, London, W1A 1ER

【概要】

- 顧客層は、アッパーミドルクラス、上流階級が中心。観光客も多い
- 取扱商品は、バイヤーがお茶の品質とセールス・トレンドを踏まえて判断



→ 主な緑茶商品

- 玉露新茶(8.05ポンド/23g、茶葉、日本産)
- ジャスミン茶(5.75ポンド/23g、茶葉、中国産)
- エルダーフラワー・グリーンティ(2.5ポンド/50g、茶葉、中国産)
- グリーンセイロンティ(2.55ポンド/51g、茶葉、スリランカ産)



3. 海外で販売されている緑茶の収集 - ドイツ・フランクフルト(Rewe)

Rewe



【住所】

- MyZeil, Zeil 106-110, 60313 Frankfurt am Main, Germany

【概要】

- 顧客帯は中間層



→ 店舗は商業エリアにあり、現地の中間層が主に利用している



- ①煎茶(1.79ユーロ/30g、ティーバッグ、産地不明)
- ②抹茶ミックス(5.99ユーロ/60g、粉末、産地不明)
- ③煎茶(2.99ユーロ/28.8g、ティーバッグ、産地不明)
- ④ジンジャーオレンジティ(2.19ユーロ/35g、ティーバッグ、産地不明)
- ⑤抹茶(8.49ユーロ/30g、粉末、日本産)
- ⑥緑茶(9.99ユーロ/200g、茶葉、インド産)
- ⑦ジンジャー・レモンティ(2.99ユーロ/36g、ティーバッグ、産地不明産)

3. 海外で販売されている緑茶の収集 - ドイツ・フランクフルト(Galleria Kaufhof)

Galleria Kaufhof



→ 商業エリアに位置する店舗



→ 店舗で良く売れるお茶は、フレーバーティ、ダーズリン緑茶、白茶(中国茶)など

【住所】

- Zeil 116-126, 60313 Frankfurt am Main, Germany

【概要】

- 主な顧客は、アッパーミドルクラス～中間層



- ①レモングラス・ペパーミント等のフレーバー付緑茶 (12.99ユーロ/39g、粉末、産地不明)
- ②桜茶 (2.99ユーロ/100g、茶葉、日本産)
- ③煎茶 (2.99ユーロ/35g、ティーバッグ、中国産)
- ④緑茶 (2.29ユーロ/43.75g、ティーバッグ、産地不明)
- ⑤玉露煎茶 (18.99ユーロ/100g、茶葉、日本産)
- ⑥緑茶 (4.49ユーロ/40g、ティーバッグ、産地不明)
- ⑦ダーズリン・グリーンティ (5.49ユーロ/100g、茶葉、産地不明)
- ⑧ジンジャー・レモンティ (3.49ユーロ/36g、ティーバッグ、産地不明産)

3. 海外で販売されている緑茶の収集 - ドイツ・フランクフルト(Tee Handels Kontor Bremen)

Tee Handels Kontor Bremen



→ 顧客は現地の富裕層が中心



→ 人気のある商品は、中国茶の茶葉、フレーバーティーの茶葉など

→ 日本のお茶については、抹茶以外の仕入れはしていない。煎茶などは中国茶の方が手作業で作られており好ましい

【住所】

- Große Bockenheimer Str. 33,
60313 Frankfurt am Main,
Germany

【概要】

- 顧客層はアッパーミドルクラス、上流階級
- 商品の品揃えは、品質とセールストrend、生産者からの調達が可能かによって判断している



【上段左】緑茶(サマーブレンド)(4.82ユーロ/100g、茶葉、中国産)

【上段中央】メコン烏龍茶(17.96ユーロ/100g、茶葉、中国産)

【上段右】玉露(17.96ユーロ/100g、茶葉、中国産)

【下段左】ロンジン茶(12.24ユーロ/100g、茶葉、中国産)

【下段中央】緑茶(11.66ユーロ/100g、茶葉、韓国・濟州島産)

【下段右】緑茶(4.82ユーロ/100g、茶葉、中国産)

3. 海外で販売されている緑茶の収集 - フランス・パリ(Naturalia)

Naturalia



→ パリの商業エリアに位置する店舗



→ 中国産、日本産、インド産などの緑茶を取り扱っている
商品の価格帯は、100gあたり約4ユーロ(下写真の④)から45ユーロ(③)まで、幅広く取り揃えている

【住所】

• 9 Rue Lafayette, 75009 Paris

【概要】

• 顧客帯は主に中間層



- ① ダージリン緑茶(3.5ユーロ/40g、ティーバッグ、インド産)
- ② 玉露(8.7ユーロ/50g、茶葉、日本産)
- ③ インスタント抹茶(5.7ユーロ/12.5g、粉末、日本産)
- ④ 煎茶(3.99ユーロ/100g、茶葉、中国産)
- ⑤ 煎茶(5.45ユーロ/100g、茶葉、中国・浙江省産)
- ⑥ オーガニック緑茶(1.99ユーロ/48g、ティーバッグ、中国産)
- ⑦ オーガニック・ジャスミン緑茶(4.49ユーロ/36g、ティーバッグ、産地不明)

出所: 現地視察、ヒアリング結果

3. 海外で販売されている緑茶の収集 - フランス・パリ(Auchan)

Auchan



【住所】

- 26 avenue du général De Gaulle
93170 BAGNOLET

【概要】

- 顧客層は、中流～中流下層クラス
- 緑茶商品は、ティーバッグ形式が中心



→ 主に白人系の現地中間層と見られる顧客が緑茶を選択している光景が見られる



→ 緑茶商品は、ローズやミントなど様々なフレーバーが付いたお茶のティーバッグ商品が多い



- ①ローズフレーバーグリーンティ(3.9ユーロ/23g、カプセル、中国産)
- ②フレーバーグリーンティ(2.51ユーロ/37.5g、ティーバッグ、産地不明)
- ③チャイニーズフレーバーグリーンティ(1.21ユーロ/32.5g、ティーバッグ、日本産)
- ④ミントグリーンティ(2.99ユーロ/40g、ティーバッグ、産地不明)
- ⑤アールグレイ・グリーンティ(2.64ユーロ/43.75g、ティーバッグ、アルゼンチン・中国・アフリカ産)
- ⑥緑茶(2.59ユーロ/40g、ティーバッグ、産地不明)
- ⑦フランボワーズ・フレーバーグリーンティ(2.49ユーロ/28g、ティーバッグ、産地不明)

3. 海外で販売されている緑茶の収集 - フランス・パリ(Galeries Lafayette)

Galeries Lafayette



【住所】

- 35 Blvd Haussmann, 75009 Paris

【概要】

- 顧客帯はアッパーミドルクラス、上流層



→ パリの富裕層が利用する百貨店



→ お茶の有名ブランドを取り揃えており、各ブランドの緑茶も並んでいる
デトックスティや日本の煎茶が人気



【左上】デトックスティ(マテ茶・緑茶・ハーブのミックス)(12.6ユーロ/44g、ティーバッグ、産地不明)

【左下】緑茶(16.5ユーロ/75g、ティーバッグ、日本産)

【右上】緑茶(10ユーロ/100g、茶葉、産地不明)

【右下】抹茶入り玄米茶(13.95ユーロ/50g、茶葉、日本産)

3. 海外で販売されている緑茶の収集 - アメリカ・ロサンゼルス(Bird Pick tea & herb)

Bird Pick tea & herb



【住所】

- 6000 Sepulveda Blvd #1230, Culver City, CA 90230

【概要】

- 一般的にアッパーミドルクラス、中間層が顧客層
- 日本産緑茶も人気があるが、緑茶というと一般的に中国茶の方が認知度が高い
- 緑茶の購買者の特徴は、重量挙げの選手など。恐らく緑茶が健康に良いと考えられているからだと思われる

出所: 現地視察、ヒアリング結果



→ 店舗では、スタッフが顧客の好みを聞き、商品探しやおすすめのお茶を手伝っている



→ 店舗で最も売れているのはハーブティ



【左上】煎茶(10ドル/24g、ティーバッグ、日本産)

【右上】ジャスミン茶(6.48ドル/55g、茶葉、中国産)

【左下】アソートティーバッグセット(5ドル/49g、ティーバッグ(龍井茶、ジャスミン茶、菊花茶等、6種類)、中国産)



→ お茶に詳しい顧客は伝統的なお茶を、普段お茶を飲まない若い世代はフレーバーティを好む傾向がある

3. 海外で販売されている緑茶の収集 - アメリカ・ロサンゼルス (Mitsuwa)

Mitsuwa



【住所】

- 3760 S Centinela Ave, Los Angeles, CA 90066

【概要】

- 顧客は主に中間層
- 茶葉は高価なため、便利で安価なティーバッグの方が売れている
- 緑茶の販売・在庫については、特に問題や洞察はなし



→ 若い顧客の多くは便利なティーバッグを購入



→ 主な緑茶商品は、アメリカ産のティーバッグ(1.99ドル~4.79ドル)、日本産緑茶(2.99ドル~10.99ドル)



- 【左】煎茶(8.99ドル/100g、茶葉、日本産)
- 【中央上】玉露(10.99ドル/23g、ティーバッグ(全葉)、日本産)
- 【中央下】緑茶(1.99ドル/32g、ティーバッグ、アメリカ産)
- 【右上】オーガニック煎茶(4.79ドル/40g、ティーバッグ、アメリカ産)
- 【右下】静岡煎茶(2.29ドル/31g、ティーバッグ、日本産)

3. 海外で販売されている緑茶の収集 - アメリカ・ニューヨーク(M2M)

M2M



【住所】

• 55 3rd Ave, New York NY 10003

【概要】

- 顧客層はミドルクラス
- 緑茶の購入者は主にアジア系顧客
- 緑茶では、伊藤園と山本山の二つが最も人気のブランド



→ 主にアジア系の現地中間層と見られる顧客が緑茶を購入している
特に抹茶が人気



→ 店内には、伊藤園の陳列棚が設置されている



→ 店舗の主な緑茶商品

- 煎茶(3.99ドル/50g、ティーバッグ、日本産)
- 抹茶(6.49ドル/30g、ティーバッグ、日本産)
- 緑茶(2.99ドル/32g、ティーバッグ、産地不明)
- アイスグリーンティ(3.99/30g、粉末、アメリカ産)

3. 海外で販売されている緑茶の収集 - アメリカ・ニューヨーク(Amish Market)

Amish Market



【住所】

- 731 9th Ave, New York, NY 10019

【概要】

- 一般的にアッパーミドルクラス、中間層が顧客層
- お茶の仕入れは、売れ行きなどを基に経営者が判断
- 店舗で最も売れているお茶は、ジャスミン緑茶



→ 店舗はニューヨークの住宅地にあり、アッパーミドルクラス、中間層が利用している

→ 店舗で取り扱っている主な緑茶商品

- 緑茶(4.49ドル/40g、ティーバッグ、中国産)
- グリーンティ・ジンジャー(3.88ドル/30g、ティーバッグ、アメリカ産)
- ジャスミン緑茶(3.99ドル/30g、ティーバッグ、イギリス産)
- グリーンティWithココナッツ(7.99ドル/40g、ティーバッグ、産地不明)



→ 緑茶の中では、Twiningsのジャスミン緑茶がベストセラー商品である。また、ジンジャー・レモンティも人気がある
他のブランドでは、Yogiブランドのお茶が健康に良いと言われており、人気商品

3. 海外で販売されている緑茶の収集 - アメリカ・サンフランシスコ(99 Ranch)

99 Ranch



【住所】

- 250 Skyline Plaza, Daly City, CA 94015

【概要】

- 主な顧客は低所得者層から中間層
- 緑茶を購入するのはアジア系顧客が多い
- 販売の緑茶は、主に茶葉。商品の産地は中国産・台湾産が中心であり、日本産の取扱は少ない



- 緑茶の購入層は主にアジア系の現地低所得者～中間層
- 6ドル以下の安価な緑茶の品揃えが豊富(1.49ドル～ 5.79ドル)



→ 店舗で取り扱っている主な緑茶商品

- 抹茶入り玄米茶(4.99ドル/20g、ティーバッグ、日本産)
- 抹茶入り玄米茶(4.29ドル/100g、茶葉、アメリカ産)
- 煎茶(3.99ドル/200g、茶葉、アメリカ産)
- ジャスミン緑茶(3.49ドル/150g、茶葉、中国産)
- ジャパニーズ緑茶(1.49ドル/40g、ティーバッグ、中国産)
- そば茶(4.99ドル/110g、茶葉、中国産)
- 朝鮮人参緑茶(1.49ドル/40g、ティーバッグ、中国産)
- 緑茶(5.79ドル/50g、ティーバッグ、台湾産)
- 緑茶(5.19ドル/40g、粉末、台湾産)

3. 海外で販売されている緑茶の収集 - アメリカ・サンフランシスコ(Rainbow's Grocery)

Rainbow's Grocery



【住所】

- 1745 Folsom St, San Francisco, CA 94103

【概要】

- 一般的にアッパーミドルクラス、中間層が顧客層
- お茶の品揃えについては、売れ行き及び顧客からのリクエスト(店内にコメントボックスを設置)を参考に決定している

出所: 現地視察、ヒアリング結果



→ サンフランシスコの住宅地に位置する店舗
アッパーミドルと中間層の顧客が利用している



→ 店舗では、遺伝子組み換えでない(Non-GMO)お茶のみを取り扱う。また調達の際はオーガニック商品を優先している



→ 店舗の主な緑茶商品

- 茎茶(8.99ドル/60g、ティーバッグ、日本産)
- インスタント抹茶(1.49ドル/4g、粉末、日本産)
- オーガニック玄米茶(3.99ドル/29g、ティーバッグ、日本産)
- オーガニックほうじ茶(3.89ドル/32g、ティーバッグ、日本産)
- 抹茶(15.69ドル/43g、粉末、日本産)
- 抹茶(4.99ドル/15g、粉末、アメリカ産)
- オーガニック緑茶(10.79ドル/57g、茶葉、中国産)
- 玉芽茶(5.79ドル/36g、ティーバッグ、中国産)
- オーガニック玉緑茶(5.79ドル/30g、ティーバッグ、中国産)

3. 海外で販売されている緑茶の収集 - カナダ・トロント(Zehrs)

Zehrs



【住所】

- 6940 Morrison St, Niagara Falls, ON L2E 7K5, Canada

【概要】

- 一般的にアッパーミドルクラス、中間層が顧客層
- 販売の緑茶は、主にティーバッグ形式

出所: 現地視察、ヒアリング結果



→トロントの商業エリアにある店舗
来店客はアッパーミドル～中間層



→近年人気のお茶は、ハーブティ。多くの顧客はティーバッグの商品を購入している



【左】緑茶(4.99カナダドル/24g、ティーバッグ、カナダ産)

【中央左】ジャスミン緑茶(3.99カナダドル/30g、ティーバッグ、カナダ産)

【中央右】ジャスミンフレーバーティ(8.99カナダドル/48g、ティーバッグ、アメリカ産)

【右】緑茶(5.49カナダドル/31g、ティーバッグ、アメリカ産)



3. 海外で販売されている緑茶の収集 - カナダ・バンクーバー(T&T Supermarket Osaka Store)

T&T Supermarket Osaka Store



【住所】

- #1000-3700 No.3 Rd., Richmond, BC

【概要】

- 一般的に中間層が顧客層
- 高齢者は茶葉、若者はティーバッグを購入する傾向がある



→ 主にアジア系の現地中間層と見られる顧客が緑茶を購入



→ 緑茶は、使いやすいティーバッグの商品が中心



【左上】粉末抹茶(10.99カナダドル/48g、粉末、日本産)

【左下】オーガニック緑茶・ジンジャー入り(2.69カナダドル/36g、ティーバッグ、中国産)

【右上】玄米茶(3.99カナダドル/40g、ティーバッグ、日本産)

【右中央】緑茶(3.83カナダドル/40g、ティーバッグ、カナダ産)

【右下】朝鮮人参緑茶(4.69カナダドル/40g、ティーバッグ、アメリカ産)

3. 海外で販売されている緑茶の収集 - カナダ・バンクーバー(Safeway)

Safeway



【住所】

- 555 West 12th Ave, Vancouver BC

【概要】

- 一般的にアッパーミドルクラス、中間層が顧客層
- お茶商品の品揃えについては、店舗の売り上げデータを分析した結果を基に事務所が判断
- 販売の緑茶は、主にティーバッグ形式



→ 店舗の顧客層は若いミドルクラスが中心



→ 若い顧客に人気があるフレーバー・グリーンティの品揃えが豊富



【左上】Citrus Kiss(4.39カナダドル/40g、ティーバッグ、産地不明)

【左中央】アールグレイ・グリーンティ(6.29カナダドル/35g、ティーバッグ、中国産)

【左下】マンダリンオレンジ・グリーンティ(3.69カナダドル/34g、ティーバッグ、産地不明)

【右上】ザクロ・グリーンティ(3.79カナダドル/48g、ティーバッグ、産地不明)

【右下】モロッコ・ミント・グリーンティ(3.19カナダドル/26g、ティーバッグ、ブラジル産)

3. 海外で販売されている緑茶の収集 -マレーシア・クアラルンプール(Purple Cane)

Purple Cane

店舗外観
(イメージなし)

【住所】

- Lot LG206, Lower Ground Floor,
The Gardens, Mid Valley City,
Lingkar Syed Putra, 59200 Kuala
Lumpur

【概要】

- 顧客層はミドルクラス
- 大規模なショッピングモールの内にレストラン・カフェとショップを展開



→ 顧客には、健康志向が高く、お茶や文化を大切にすることが多い。常連客の割合が大きい



(写真: Purple Caneホームページ)

→ レストランも有しており、お茶以外に、お菓子や食事を楽しむこともできる
また、文化的活動(文学に関するセミナー、映画鑑賞、音楽ライブ等)を主催することもある

→ 毎年調達しているお茶の質、味を審査し、その結果に基づいて調達するお茶の見直しをするため、長期的に固定しているサプライヤーはない

→ 中国、台湾の緑茶など様々なブランドを取り扱っている
主な緑茶商品

- 緑茶(24.9リンギット/60g、ティーバック、中国)
- 煎茶(19.9リンギット/100g、茶葉、産地不明)
- 緑茶(28リンギット/225g、粉末、台湾産)

→ 高価なお茶(1万リンギット/100g(約25万円)など)も販売しているが、店舗ではなく本社にて保管されている

3. 海外で販売されている緑茶の収集 - マレーシア・クアラルンプール(AEON)

AEON

店舗外観
(イメージなし)

【住所】

- AT3 Mid Valley Megamall Mid Valley City Lingkar Syed Putra 59200 Kuala Lumpur

【概要】

- 中間層、一般消費者・大衆市場を対象とした大規模スーパー
- 同店では、専門業者と一般的なメーカーの緑茶を分けて、調達先ごとに違う棚へ置いている



(写真: Mid Valley Megamallホームページ)

→ AEON店舗では、食料品のほかに、衣料品や旅行用品など、生活に役立つ様々な商品も扱っている



→ 主に緑茶、ジャスミン茶、煎茶などを取り揃えている

- ジャスミン緑茶(18.6リンギット/200g、ティーバック、産地不明)
- 緑茶(17.5リンギット/200g、ティーバック、産地不明)
- 抹茶(28リンギット/50g、粉末、日本産)
- 煎茶(28リンギット/24g、茶葉、日本産)
- 桜煎茶(28リンギット/36g、茶葉、産地不明)
- 緑茶(28リンギット/60g、ティーバック、タイ産)

3. 海外で販売されている緑茶の収集 -マレーシア・クアラルンプール(AEON BIG)

AEON BIG

店舗外観
(イメージなし)

【住所】

- AT1 Mid Valley Megamall, Mid Valley City, 58000 Kuala Lumpur

【概要】

- 大衆向けメガモールの食料品売り場

出所:現地視察、ヒアリング結果



(写真:Mid Valley Megamallホームページ)

→ ローカルな食材から輸入食品まで、豊富な商品を安く購入することができる大規模なスーパーマーケット



→ 商品は、アジアと欧米の加工業者ごとに、それぞれ異なる棚に置かれている

→ 取り扱う緑茶商品は多いが、マレーシア、中国、台湾の原産のお茶が中心。現時点では日本のお茶は調達していない

- 緑茶(17.9リンギット/187g、茶葉、台湾産)
- 緑茶(9.4リンギット/40g、ティーバック、台湾産)
- 緑茶(8.5リンギット/40g、ティーバック、中国産)
- 緑茶(11リンギット/125g、茶葉、産地不明)
- 緑茶(18.9リンギット/50g、ティーバック、産地不明)
- ジャスミン緑茶(8.5リンギット/40g、ティーバック、中国産)
- ジャスミン緑茶(10.9リンギット/50g、ティーバック、マレーシア産)
- アップル・グリーンティ(17.9リンギット/50g、ティーバック、産地不明)

3. 海外で販売されている緑茶の収集 -マレーシア・クアラルンプール(TMC)

TMC



【住所】

- 23-27, Lorong Ara Kiri 1, Lucky Garden, Kuala Lumpur, Bangsar, 59100

【概要】

- 中間層の居住エリアに立つスーパーマーケット
- 販売の緑茶は、主にティーバッグ形式



→ ミドルクラスを対象とした大衆向けスーパーマーケット



→ 緑茶や紅茶の他、フレーバーティなど、幅広い種類のお茶を取り揃えている

店舗で取り扱っている主な緑茶

- 煎茶 (11.99リンギット/40g、ティーバック、台湾産)
- 煎茶 (8.9リンギット/40g、ティーバック、日本産)
- 緑茶 (10.89リンギット/50g、ティーバック、産地不明)
- 日本緑茶 (17.69リンギット/187.5g、茶葉、台湾産)
- 中国緑茶 (7.89リンギット/100g、茶葉、産地不明)
- 緑茶 (5.49リンギット/37.5g、ティーバック、産地不明)
- ジャスミン緑茶 (10.9リンギット/40g、ティーバック、産地不明)
- ジャスミン緑茶 (21.49リンギット/200g、茶葉、産地不明)
- ジャスミン緑茶 (12.45リンギット/50g、ティーバック、産地不明)
- ステビア緑茶 (10.49リンギット/60g、ティーバック、産地不明)
- ミント・グリーンティ (12.45リンギット/40g、ティーバック、産地不明)

3. 海外で販売されている緑茶の収集 - マレーシア・クアラルンプール(Just Life)

Just Life



(写真: Justlifeホームページ)

【住所】

- LG 208 The Gardens, Mid Valley City, Lingkaran Syed Putra 59200 Kuala Lumpur

【概要】

- 顧客帯は中流～上流層
- オーガニック、環境に優しい商品を取り揃え、全国に6つの店舗を有する



→ 店舗で取り扱っているお茶は輸入品のみ



→ 店舗に並ぶお茶は、製造業者の声などを基に仕入れる商品を判断している

店舗で取り扱っている主な緑茶

- オーガニック緑茶 (25.9リンギット/100g、茶葉、中国産)
- 中国緑茶 (18.9リンギット/20g、ティーバック、中国産)
- 緑茶 (14.9リンギット/40g、ティーバック、チリ産)

3. 海外で販売されている緑茶の収集 -マレーシア・クアラルンプール(BIG)

BIG (Ben's Independent Grocer)

店舗外観
(イメージなし)

【住所】

- 1A, 83-95, Level UG, Publika,, Jalan Dutamas 1, 50480 Kuala Lumpur, Wilayah Persekutuan Kuala Lumpur, Malaysia

【概要】

- 高級住宅街に位置しており、上流階級や、専門家などが主な顧客
- お茶商品の品揃えについては、店舗の売り上げデータを分析した結果を基に事務所が判断

出所:現地視察、ヒアリング結果



(写真:BIGホームページ)

→ 輸入食品の取扱も多く、オシャレな内装
店内で料理のデモンストレーションや料理教室なども開催されている



→ 紅茶売り場とコーヒー売り場の面積の割合は1対3



店舗で取り扱っている主な緑茶

- 緑茶 (10.9リンギット/50g、ティーバック、中国産)
- ナチュラルグリーンティ(18.9リンギット/60g、ティーバック、産地不明)
- ミント・グリーンティ(11.5リンギット/50g、ティーバック、スリランカ産)

3. 海外で販売されている緑茶の収集 - マレーシア・クアラルンプール(Hojo)

Hojo



(写真:HOJOホームページ)

【住所】

- T-215, 3rd Floor, Mid Valley City, Lingkaran Syed Putra 59200 Kuala Lumpur

【概要】

- 主な顧客は中流～上流層



→ 並ぶお茶は、日本、中国、台湾で手摘みの最高級品



→ 店内ではお茶の試飲が可能



Lji Cha Jubuzan

The rare "Aracha" that undergoes no baking. Tea gives floral flavor.



Lji Cha Jubuzan Seito Shiage

The lightly fired tea with Kyoto style



→ オンラインショップでは、お茶の特徴や美味しい飲み方などを詳しく紹介(左は日本産緑茶のページ)

お茶の購入や海外発送も行っている
<http://hojotea.com/indexe.html>

3. 海外で販売されている緑茶の収集 -マレーシア・クアラルンプール(Tea Republic)

Tea Republic



【住所】

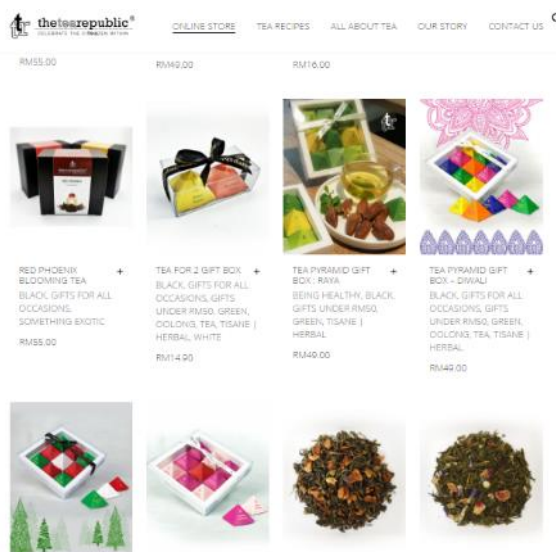
- AT1 Mid Valley Megamall, Mid Valley City, 58000 Kuala Lumpur

【概要】

- 一般的にアッパーミドルクラス、中間層が顧客層
- お茶商品の品揃えについては、店舗の売り上げデータを分析した結果を基に事務所が判断
- 販売の緑茶は、主にティーバッグ形式



- 店舗では、日本、台湾、中国産の手摘みの最高級の茶葉をマレーシアで加工した緑茶を販売している
- お茶の品質・テイストは毎年査定を行っており、サプライヤーとの固定契約などはない



- オンラインショップでも多種類の緑茶を販売
抹茶(18ドル/42g、粉末、日本産)
オーガニック緑茶(13ドル/36g、ティーバッグ、産地不明)等
- お茶の淹れ方のレシピなども紹介されている

3. 海外で販売されている緑茶の収集 -シンガポール(Enjoy Tea)

Enjoy Tea



【住所】

- 18 Sago Street, Singapore 059017

【概要】

- 富裕層と観光客が顧客層
- 高級な中国茶の専門店であり、日本産緑茶は取り扱っていない
- 販売の緑茶は、主にティーバッグ形式
- 味、香りでお茶を調達



→ 店舗では、Spring Snail, 龍井等のような中国産緑茶が並んでいる。

→ 例えば、Spring Snail緑茶の価格帯は、SGD25/25g、SGD40/50g、SGD80/100gといった高価格。



→ 店舗では、高級な中国産緑茶を、高級なお茶セットで体験可能。

3. 海外で販売されている緑茶の収集 -シンガポール(Cedele)

Cedele



【住所】

- Raffles City

【概要】

- 特に社会人、中年層の中間層が顧客層
- 主にケーキ等を買っている喫茶店で、それに合うインド産、南アフリカ産の紅茶を取り扱っており、日本産緑茶は取り扱っていない
- 販売の緑茶は、主にティーバッグ形式



→ 店舗では、ケーキ、パン、ジャムが販売されており、それに合うインド産、南アフリカ産の紅茶を販売。



→ 店舗は喫茶店の外見を有しており、ケーキを販売。

3. 海外で販売されている緑茶の収集 -シンガポール(Clipper Tea)

Clipper Tea



【住所】

- 252 North Bridge Road, #B1-48, Singapore 179103

【概要】

- 特に社会人の大衆消費者が顧客層
- 本来120年以上の歴史を持つ、スリランカ人が設立したジュエリー、宝石の現地老舗であるが、同社のブランドを使ってスリランカ紅茶専門店を設立
- 日本緑茶をも取り扱っているが、他国産のお茶がよりやすいため販売が難しい
- 自社ブランドのスリランカ産紅茶のみを販売

出所：現地視察、ヒアリング結果



→ 店舗では、自社ブランドのスリランカ産紅茶が並んでいる。



→ 自社ブランドの紅茶は、パック、缶、瓶等の形で販売。